

上田市次世代育成支援後期行動計画

平成24年度進捗状況

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	1	新生児訪問 (乳児家庭全戸訪問事業)	市内で出生した生後4ヶ月までの乳児がいるすべての家庭を対象に、保健師・助産師が家庭訪問を行う 児の発育状況、産婦の体調、養育環境などの把握や助言、子育て支援情報を提供する	生後4ヶ月未満児及び産婦	上田	健康推進課	・新生児訪問 1282件 ・産婦訪問 1268件	2,480	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)			
					真田	健康福祉課 (健康推進係)			
					武石	健康福祉課 (健康推進係)			
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	2	養育支援訪問事業 (産褥支援)実施	育児支援家庭訪問事業の実施 子育てに対して不安や孤立感等を抱えるなど養育支援が必要な家庭に対して支援を行う者を派遣する。	妊娠期から継続的な支援を必要とする者	上田	子育て・子育て支援課	・生後4か月までの全戸訪問事業を実施し、養育者・家庭環境等から支援が必要と思われる家庭に家事・育児支援をしながら養育者を支え、養育状況を見守る訪問支援員を派遣。平成24年度は対象家庭がなかったため未実施。 その他、特に支援が必要な家庭へ技術的援助として専門職(保健師)が、訪問支援を実施した。 上田地区 68人 丸子地区 60人 真田地区 0人 武石地区 0人	0	・特に子育ての困難さが伴うハイリスク家庭を対象としていることから、緊急時の運用として活用されているが、利用判断が難しい。健康推進課と連携を図りながら、必要な家庭にタイミング良く支援ができるようにしていかなければならない。
					丸子				
					真田				
					武石				
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	3	ファミリー・サポート・センター事業 (特定事業)	子育ての援助をしてほしい会員と、援助を行う会員を募集、組織して、センターが援助の仲介を行う。 ファミリー・サポート・センターの充実 [平成20年度]【平成26年度】 1か所 1か所 会員691人 会員800人 (年間1,866件) (年間3,000件)以上	市内在住又は勤務で概ね3ヶ月から12歳までの子どもをお持ちの方	上田	子育て・子育て支援課	・上田市社会福祉協議会へ事業委託(1か所) 年間活動件数1206件 全体会員数825人	4,153	・会員数の増加を図る。
					丸子				
					真田				
					武石				
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	*計画策定後に新たに実施した事業	子どもの健康づくり事業の拠点	妊婦から乳幼児期の子どもに関する保健事業を行う(各地域保健センターの利用者)	0歳から小学校就学前の子どもとその親	上田	健康推進課	・上田保健センター利用人数12,453人	0	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)	・保健センター利用人数5,046人		
					真田	健康福祉課 (健康推進係)	・保健センター利用人数946人		
					武石	健康福祉課 (健康推進係)	・保健センター利用人数262人		
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	4	出産育児支援室(ゆりかご)	核家族等の理由により、産褥期に家庭で子育て等の支援をうけることが困難な母親に対して、子育て支援施設「ゆりかご」で支援を行う。	新生児とその母親	上田	子育て・子育て支援課	・利用者:19人 ・利用日数:162日	2,422	・潜在的なニーズがあると思われるので、周知を図りたい。
					丸子				
					真田				
					武石				
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	5	一時預かり事業 (特定事業)	保護者の就労形態や傷病、育児疲れの解消などのため緊急・一時的に実施される保育 ・一時預かり実施園の拡大 [平成21年度]【平成26年度】 18園 21園	生後6ヶ月以上で就学前の未就園児	上田	保育課	・公立保育園10園、私立保育園7園 合計17園で実施 ・利用者数(公立10園合計) 3歳以上児 2,024人 3歳未満児 4,995人 合計 7,019人	・歳出(私立5園へ補助) 5,303 ・歳入(補助金) 3,150 ・歳入(利用料) 11,741	・一時預かりの利用状況、利用する人の住所を把握し、一時預かり実施園を見直す。
					丸子				
					真田				
					武石				

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度への 課題・取組
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	6	子育て短期支援事業 (ショートステイ事業) (特定事業)	保護者の就労や疾病等により、一時的に家庭で養育することが困難になった児童に対して、乳児院、児童養護施設等でショートステイ(宿泊型一時保育)を行う。 [平成21年度] 3か所 [平成26年度] 3か所	16歳未満の児童	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・施設2か所で実施 ・2歳未満児 延3人 延10泊 ・2歳以上児 延1人 延7泊	130	・児童虐待の予防のためのショートステイも含めて支援を実施。
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	7	放課後児童健全育成事業 (特定事業)	放課後児童クラブ(児童クラブ・学童保育所)、児童館・児童センターの運営。 ・要支援児童等の受け入れ体制の充実。 ・就学前児童の子育て支援事業への協力。(ひろば事業:7か所) ・地域における子育て支援推進。 ・放課後児童クラブ:老朽化・狭隘化施設の移転。 [平成21年度] 26か所 1,613人 [平成26年度] 29か所 1,744人	小学生	上田	学校教育課	[放課後児童クラブ 市内全4地区] 26か所実施 登録者2,160人 [上田地域] ・児童館・児童センター8館、延べ利用児童数 73,161人 ・児童クラブ12か所、登録児童数1,243人、延べ利用児童数 109,804人 ・学童保育所5か所、登録児童数 247人、延べ利用児童数 47,854人 ・児童館センター3館(大星、神科、東塩田)、児童クラブ2施設(清明、中塩田)では、子育てひろばに施設を開放 [丸子地域] ・児童館1館、延べ利用児童数962人 ・児童クラブ4か所、登録児童数 396人、延べ利用児童数 35,327人 [真田地域] ・児童館1館、延べ利用児童数1,714人 ・児童クラブ4か所、登録児童数 243人、延べ利用児童数 17,837人 ・真田児童館では、子育てひろばに施設を開放 [武石地域] ・児童館1館、延べ利用児童数13,041人 ・学童保育所1か所、登録児童数 31人、延べ利用児童数 5,047人 ・武石児童館では、子育てひろばに施設を開放	運営費 280,246 施設整備費 3,091	・要支援児童の受入体制の充実。 ・老朽化、狭隘化した施設への対応。
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	8	地域子育て支援拠点事業 (子育て支援センター) (特定事業)	子育て家庭の支援活動の企画・調整・実施を担当する職員を配置し、あそびの広場の開催、育児不安等についての相談指導、子育てサークル等への支援などを行う。 常設あそびの広場 おおむね3歳未満の子どもとその保護者同士の交流の場。 わんぱくパーク おおむね3歳未満の子どもとその保護者を対象とした戸外での遊びの広場。 わくわく広場 親子あそびを通し、親子関係や子どもの発達を促すための支援を行う。「年4コース(1コース6回)」、パンピの会(ママのおしゃべり会) 親同士の交流を行うことで、育児中 情報提供事業 相談事業	概ね3歳未満の子どもとその親	上田 丸子 武石 真田	子育て・子育て支援課	常設遊びの広場 ・中央 49,105人、神科 4,618人、泉田 10,132人 *常設以外の遊びの広場 ・塩田(中塩田児童クラブ) 2,542人 ・神川地区公民館ひろば 229人 わんぱくパーク(中央・神科・泉田) 102人 わくわく広場 ・中央 337人、神科 245人、泉田 322人 おしゃべり会(パンピの会) ・泉田 26人、塩田 13人 子育て支援センター通信・園開放情報の発行及びHP上にPDF版の紙面を掲載し情報提供 相談事業 ・中央 23 常設遊びの広場 ・中丸子 5,556人 *常設以外の遊びの広場 ・西内 1,528人 長瀬市民センターひろば 128人 わんぱくパーク(中丸子) 33人 わくわく広場 247人 相談事業 中丸子 248件、西内 222件 常設遊びの広場 ・真田 3,151人 常設以外の遊びの広場 ・真田児童館 92人 相談事業 238件	2,309	・継続して実施する。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	9	地域子育て支援拠点事業 (ひろば型・児童館型) (特定事業)	子育て親子の交流の場の提供と促進 子育て等に関する相談、援助の実施 地域の子育て関連情報の提供 子育て及び子育て支援に関する講習会の実施 ・清明児童クラブ(月・水・金:5時間) ・丸子子育てサロン(月・水・金:5時間) ・大星児童センター(火・木・金:3時間) ・神科児童センター(火・水・木:3時間) ・東塩田児童センター(月・火・水:3時間) ・武石児童館(月・火・金:3時間)	概ね3歳未満の子どもとその親	上田	子育て・子育て支援課	市内6箇所を実施 ・清明 1,891人 ・丸子 4,565人 ・大星 1,687人 ・神科 2,047人 ・東塩田 3,242人 ・武石 2,028人	7,180	継続して実施する。
					丸子				
					真田				
					武石				
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	10	親子交流 (ゆうゆうほっとるーむ)	利用しやすい環境をつくることにより、親子同士の情報交換や仲間作りの場を提供する。	子育て中の親子	上田	人権男女共同参画課	・ゆうゆうほっとるーむ…毎週(金)開放日	0	・市民プラザ・ゆうの特性が伝わるようなPRをしていく必要がある。
					丸子				
					真田				
					武石				
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	11	あそびの教室と自由あそびの日の開催	入園前の親子等を対象に、親子や仲間との関わりを豊かにするための教室を開催する 発達支援が必要な親子のフォローと適正療育に関する支援	0歳から3歳までの子ども	上田	健康推進課	・年12回開催、参加親子人数194人	186	継続
					丸子				
					真田				
					武石				
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	*計画策定後に新たに実施した事業	子育て応援講座	子育て応援講座。	子育て中の親	上田	人権男女共同参画課	・子育て応援講座3講座開催 延323名参加 ・新春コンサート開催 150名参加	124	・第2次上田市男女共同参画計画に基づき内容を検討していく。
					丸子				
					真田				
					武石				
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	12	育児110番	子育てに関する電話相談の常設 (スタッフ 保健師・助産師・管理栄養士等)	妊産婦と0歳から学童期の子どもの保護者	上田	健康推進課	・相談件数 205件	0	継続
					丸子				
					真田				
					武石				
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	13	健康相談	子育てに関する健康相談、栄養相談等 (スタッフ 保健師・看護師・助産師・管理栄養士等)	妊産婦及び0歳から3歳頃の子どもの保護者	上田	健康推進課	・相談件数 3,237(全地域)	0	継続
					丸子				
					真田				
					武石				

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	14	母乳育児相談	妊娠中から子育て中における助産師による母乳(ひとまちげんき健康プラザうえだにて専用相談室を設置している)	妊産婦及び0歳から3歳頃の子どもとその保護者	上田	健康推進課	・母乳妊婦相談 490回 来所実人数2283人(全地域) 電話相談126件	2,472	・継続
					丸子	健康福祉課(健康推進係)			
					真田	健康福祉課(健康推進係)			
					武石	健康福祉課(健康推進係)			
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	15	親子の食事に関する相談	管理栄養士による相談・指導。(妊娠期から乳幼児期の母親の栄養/家族全体の食事・栄養)	妊産婦及び0歳から3歳頃の子どもとその保護者	上田	健康推進課	・乳幼児健診 集団4,987人 個別832人 ・食事相談 相談人数2,863人	984	・地区健康相談、こどもひろばにおける定期栄養相談の実施、関係機関専門職種間の連携
					丸子	健康福祉課(健康推進係)			
					真田	健康福祉課(健康推進係)			
					武石	健康福祉課(健康推進係)			
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	16	歯の相談	両親学級、乳幼児健診・教室時の歯科衛生士による 口腔衛生に関する相談、歯科指導	妊婦及び0歳から3歳の子どもとその保護者	上田	健康推進課	・4ヶ月健診1,258人 ・おたんじょう歯の教室 682人 ・1歳6ヶ月健診1,281人 ・2歳児健診1,068人 ・3歳児健診1,214人 ・うぶ声学級は上田、丸子地域で開催 168人	2,247	・継続
					丸子	丸子健康福祉課			
					真田	真田健康福祉課			
					武石	武石健康福祉課			
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	17	教育相談	「学校に行きたがらない」、「学校生活での心配」等子どものさまざまな問題を共に考え助言・指導する。	小中学生及び保護者	上田	学校教育課	相談件数(4地域) ・教育相談所 1,107件 ・心の教室相談員 13,902件 ・ふれあい教室 1,182件	*不登校対策及び心の教室相談員(事業番号109.110)の欄に記載)	・学校、教職員、保護者等との一層の連携。 ・相談業務を行う民間団体との連携。
					丸子				
					真田				
					武石				
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	18	チャイルドライン事業支援	子ども専用の相談電話開設のために、民間の人達を中心とした子どもの悩み相談研究会を立ち上げ、研究会を開催し検討をした結果、18年度10月からチャイルドラインうえだを開設。	18歳までの子ども	上田	子育て・子育て支援課	・受付件数 4,417件 うち相談成立 1,876件	0	・チャイルドラインの活動について小中学生にカードを配布するなど広報活動を行い、子どもたちのへの周知を図る。
					丸子				
					真田				
					武石				
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	19	ポルトガル語等による広報紙の発行	広報掲載内容のうち、乳幼児健診・予防接種など子育てに必要な情報をポルトガル語と中国語に翻訳し、配布する。	子どもを持つ親を対象	上田	市民課	・ポルトガル語(毎月)、中国語(隔月)の広報誌を発行。乳幼児健診・予防接種に関して「保健ごよみ」を翻訳したほか、必要に応じて保護者との通訳を行った。また、小中学校の求めに応じて、学校関係から家庭へのお知らせ等の翻訳を行った。	279	・継続して実施する。
					丸子				
					真田				
					武石				

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	20	市民課における専門窓口の設置	市民課にバイリンガル職員を配置し、ポルトガル語、スペイン語、中国語の相談に対応。	子どもとその親	上田 丸子 真田 武石	市民課	・ポルトガル語(スペイン語)への対応として、専任職員に加えて緊急雇用職員を配置した。	2,613	・「外国籍市民相談事業」での緊急雇用の募集がないため、非常勤職員で対応する。
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	21	上田市子育て支援策パンフレットの作成	転入者や子育て家庭に配布するためパンフレットを作成。(8,000部) 配付先:保育園、幼稚園、新生児の親等。	子育て家庭	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課 健康推進課	・幼稚園・保育園の在籍児家庭への配布と子育て関連施設への配置をした。	80	・継続実施
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	22	家庭通信学級(子育て家庭通信)	子どもの出生から3歳まで毎月1通、総計36通にわたって八ガキで子育てについての情報を提供する育児学習通信。	0歳から3歳までの子どもがいる家庭	上田 丸子 真田 武石	中央公民館	・12,105通	649	・質問には答えられる範囲で電話・手紙で答える。 ・八ガキの編集
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	23	こども情報誌「YAっHO - 」	完全学校週5日制をきっかけとして、体験学習の機会を得るための情報を市内の全小中学生に提供する情報誌を発行する。(年3回)	小中学生	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・年3回(6月、10月、2月)、各17,000部発行し、小中学生全員と幼稚園・保育園等に配布。	1,047	・公民館、青少年団体等で実施する体験学習事業等について、幅広く情報を収集し、情報誌に掲載する。
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	24	ホームページ	子どもに関する事業等を掲載する。	市民	上田 丸子 真田 武石	全課	・随時掲載。	0	・継続して実施する。
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	25	広報	子どもに関する事業等を掲載する。	市民	上田 丸子 真田 武石	全課	・随時掲載。 ・子育てメール配信サービス開始(平成25年3月)	0	・継続して実施する。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組	
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	*計画策定後に新たに実施した事業	お誕生相談	1歳児を対象の健康教室 (スタッフ 保健師 栄養士、歯科衛生士)	1歳	上田	健康推進課	・おたんじょう教室49回、参加者 854人	701	・継続して実施する。	
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	*計画策定後に新たに実施した事業	子育て支援に関する情報提供と他課との連携	子育て支援に関する情報提供 ・赤ちゃん手帳配布による上田市の子育て情報と育児の基本情報の掲載 ・他課との連携 子育て情報リーフレットコーナーの設置	概ね3歳未満の子どもとその親	上田	健康推進課	・赤ちゃん手帳の配布 全出生児及び3歳以下の上田市転入者 ・他課との連携 子育て情報リーフレットコーナーの設置(上田市健康プラザ内、市民等)	515	・上田市の育児情報、育児基本についての正しい情報提供	
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	26	次世代育成支援対策地域協議会	地方公共団体、事業主、住民その他の次世代育成支援対策の推進を図るための活動を行う者からなる次世代育成支援対策地域協議会を組織し、地域における次世代育成支援の推進に必要なべき措置について協議する。	全市民	上田	子育て・子育て支援課	協議会開催(2回) 平成25年1月29日、2月21日	10	・継続して実施する。 ・後期行動計画と新たに策定する子ども子育て支援事業計画との調整を図る。	
					丸子					
					真田					
					武石					
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	27	ながの子育家庭優待パスポート事業	子育て家庭に対して、地位の企業、店舗、施設が各種サービスを提供することにより、子育て家庭を地域で支える気運を醸成する。	全市民	上田	子育て・子育て支援課	・市内事業協賛店舗数(合計183店) 平成24年度新規4店舗	0	・協賛店舗の増加のめた各種団体等との協力を図る。 ・H25年度末を以って、現在ご利用いただいているパスポートカードの有効期限が終了する。このため新たにカードの作成及び配付が必要となる。	
					丸子					
					真田					
					武石					
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	28	情報の提供	広報やメディアに男女が共に参画できる社会実現のため啓発記事を掲載。	全市民	上田	人権男女共同参画課	・広報うえだ2回掲載 ・第2次上田市男女共同参画計画ダイジェスト版の作成・配布 ・成人式用パンフレット「愛ってなに」の作成・配布 ・男女共同参画啓発用小学生向けしおりの作成・配布	247	・第2次上田市男女共同参画計画に基づき、内容を検討。	
					丸子					丸子市民生活課
					真田					
					武石					武石市民生活課
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	29	保育士の資質の向上	研修計画に基づく保育士研修の実施や研修内容の充実、公開保育などの保育研究の実施	保育士	上田	保育課	・上田市保育園連盟と連携して、計画的に研修会等を開催し、保育士の資質の向上を図りました。 公開保育：2園において実施 夏期研修会：8月18日(土)開催 参加者数：589人 保育研究委員会：6グループによるテーマ別の保育研究を進め、研究発表会の開催(2/16) 講演会(6回開催) 県及び幼年教育研究会の研修会に参加	歳出(上田市保育園連盟負担金) 1,482	・質の高い保育を提供するため、引き続き、上田市保育園連盟と連携して、計画的に研修会等を開催するほか、県や幼年教育研究会の研修を通して、保育士の資質向上を図ります。	
					丸子					
					真田					
					武石					

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	30	保育サービスの充実	電話等による、子育てに関する質問や悩み事の相談 ・子育ての悩み等の相談事業の強化 ・相談に応じる育児支援体制の整備 ・地域の子育て中の親が子育て情報を保育園で得ることができるための取り組みの強化 園開放・地域支援活動事業の拡大 ・保育園・幼稚園での異年齢交流の推進 ・保育園が在園児の保育と同様に在宅の乳幼児を対象とした体験事業等の実施 ・家庭教育向上の支援として、保育園で育児情報を得ることができるための事業の実施	0歳から小学校就学前までの乳幼児の保護者	上田 丸子 真田 武石	保育課	電話等による子育てについての相談は公立保育園31園 私立保育園10園 公立幼稚園2園において実施 公立保育園31園、私立保育園9園にて実施	・歳出(公立) 3,034 (私立へ補助) 1,677	・地域に開かれた事業として、各種取組を継続する。
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	31	保育施設の整備	保育施設の計画的な改築を進め、保育環境の一層の整備を図る。 ・小泉・泉田保育園の統合園整備[平成22年] ・公立保育園の統廃合	保育園児	上田 丸子 真田 武石	保育課	神科第一保育園改築整備 ・地形測量、地質調査業務	歳出(業務委託料) 1,418	・引き続き、保育施設の改築、統廃合を進め、保育環境の充実を図っていく。
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	32	通常保育事業 (特定事業)	日中、家庭での保育に欠ける児童について、保育所で保育を行う。 現在公立31園、私立10園 ・3歳児未満児 [平成21年度]919人 [平成26年度]805人 ・3歳児以上児 [平成21年度]2,881人 [平成26年度]2,520人	0歳から小学校就学前までの乳幼児	上田 丸子 真田 武石	保育課	・公立保育園31園 私立保育園10園、公立幼稚園2園において児童の保育を実施。 ・[平成24年度] 3歳児未満児(登録人数) 1,008人 3歳児以上児(登録人数) 2,818人		・未満児保育のニーズが高まっていることから、今後も受け入れの拡大を図っていく。
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	33	延長保育事業 (特定事業)	保護者の就労形態の多様化に伴う長時間保育のニーズに対応し、通常の保育時間(平日8:30~16:30、土曜日8:30~12:30)を超え、11時間の保育の受け入れを実施する。 [平成21年度] 21園454人 [平成26年度] 26園1,108人	市立保育所に入所している児童	上田 丸子 真田 武石	保育課	・[平成24年度](登録人数) 23園 1,256人 ・公立保育園13園、私立保育園10園で実施		・延長保育の利用者数や利用時間帯を把握し、延長時間の短縮・拡張を検討する。
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	34	休日保育事業 (特定事業)	就労形態の多様化に伴う日曜・祝日等の保護者の就労等により、家庭で保育することができない児童に対する保育 [平成21年度]3園70人 [平成26年度]4園109人	市内の認可保育所に通園している1歳以上の児童	上田 丸子 真田 武石	保育課	・[平成24年度] (登録利用) 3園31人 (緊急利用) 3園31人	・歳入(補助金) 2,670 ・歳入(利用料) 211	・休日保育の利用状況を把握し、実施園や受入数について検討を行っていく。
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	35	病児・病後児保育事業 (特定事業)	生後約6ヶ月から小学校3年生までを対象に、上田病院で病児・病後児保育を実施する。 [平成21年度]1ヶ所 [平成26年度]2ヶ所	生後6ヶ月から小学校3年生まで	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	[平成24年度]1ヶ所 ・病児保育センター(上田病院へ委託)で病児・病後児保育を実施。 登録者数:856人 利用者数:470人(延べ) 病児:464人、病後児:6	10,642	・継続して実施する。 ・定住自立圏形成協定を締結により長和町・青木村への周知する。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	36	障害児巡回指導事業	保育士の指導及び保護者の相談 公私立保育園の発達に気になる子どもへの理解と対応について、専門機関による巡回支援・指導		上田 丸子 真田 武石	保育士、園児の保護者 保育課	・専門機関による公・私立保育園及び公立幼稚園の年間巡回指導回数：82回(447人)	歳出(委託料) 660	・対象園児が増加傾向にあり複数回の巡回を希望する園が増えてきている。昨年度に比べ私立保育園の巡回希望が増え、巡回指導の専門員の充実が課題。
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	37	子育て家族応援事業	子育て支援を行うことを目的とする市民団体と協働 ・子育て家族応援事業、サークル支援事業、ふぁみりーチャレンジランド事業、父親の育児参加支援事業、企業向け出前講座の実施 子育て支援に関するグループ、NPOの組織化の支援 子育て支援に関する団体の自主活動促進のための情報提供及び支援 子育て支援に関する「ボランティア活動」への支援	市民	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・保育園幼稚園情報講座 1回 33人 ・サークル支援事業 12回 630人 ・ふぁみりーチャレンジランド事業 4回 184人 ・わんぱくパーク 4回 135人 ・わくわくファミリーフェスタ 985人 ・ステキなパパになりたい人のための講座 5回 210人	500	・実行委員会による事業の推進を継続する。
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	38	スマイルママネットUEDA	約20の子育てサークルが所属する連絡会議を通じ、子育てサークルの活動支援を行う。わくわくファミリーフェスタ開催。 ・子育て支援関係団体等やNPOとの連携 ・子育てを巡る関係者が連携をして子育て支援を行う体制整備 関係機関による会議の開催・情報交換。	市民	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・連絡会年7回開催(19サークル参加)	0	・講座等の周知のため、子育て中の親子が集まる場所へチラシを掲示する。
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	39	かるがも学級の実施	家庭教育セミナー・子育てに悩みや疑問を持つ母親を対象に連続講座を開催。 お母さんのためのレベルアップ講座：子育ての身近なテーマについて学ぶ。 子育て教養講座・家庭教育充実講座・子育て応援講座。	0歳から3歳までの子どもとその親	真田	真田中央公民館	・かるがも教室 10回12組延べ 136人	201	・内容の一部と名称を変更して実施する。
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	40	本を通じての子育て支援	絵本講演会の開催(隔年) 子どもと本の橋渡しをし、子どもの心の成長を支援する。	未就学	上田 丸子 真田 武石	上田図書館			
		事業終了							
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	41	読み聞かせ会・おはなし会の開催	おはなし会や読み聞かせの会を定期的で開催し、幅広く本に親しむ機会を提供する。	0歳から12歳まで	上田 丸子	上田図書館 創造館分室 上田情報ライブラリー 丸子図書館	・おはなし会、読み聞かせ会等の開催(創造館分室含)年49回開催、延べ参加人数683人 内訳(詳細) ・おはなしと本の会 年23回実施。延べ参加者数373人。(上田図書館・創造館分室) ・手づくり絵本とパネルシアター 年2回実施。延べ参加者数23人。(上田図書館) ・おはなし会 年24回開催 延べ参加者数287人(情報ライブラリー) ・おはなし会 年10回開催 延べ参加人数418人 ・2歳児歯科検診時絵本の読み聞かせ 年6回開催 延べ参加人数143人	60	・広報活動の充実を図る。
									0 ・マンネリ化しないような企画をボランティアと共に計画していく。 ・PR方法を幅広くする。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
					真田	真田図書館	・おはなし広場(サポーター) 年11回開催 延べ参加人数248人 ・広沢里枝子さんおはなし会 参加者数26人 ・絵本作家 高橋由為子絵本、紙芝居の会 参加者数27人 ・おはなし会(職員) 7回開催 延べ参加人数74人 ・1歳児健診時読み聞かせ 年3回開催 延べ参加人数98人	10	・真田図書館サポーターの会との協働により、内容、広報活動の充実を図る。
					武石	武石地域教育事務所		0	・事業終了。
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	42	親子映画会		小学生及び保護者	武石	武石公民館			
		* NO.43 「各種体験教室等」において実施							
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	43	各種体験教室等(公民館における青少年育成事業)	親子里山講座:身近な自然に触れる機会を提供し、里山の活かし方や、整備、保全など考える。 炭焼き体験教室:炭焼き釜で、炭焼き体験を行う。 工作教室:山の自然木でトンボ作り等と廃材利用の風作り等を実施。 子ども探検隊:「土地を知り、その地に思いを残す子」にするために実施・夏休み野外教室・親子学習教室。 夏休み中等における体験講座。 自然とのふれあい体験事業の拡大。	小中学生	上田	中央公民館 西部公民館 城南公民館 上野が丘公民館 塩田公民館 川西公民館	(城南) ・ものづくり教室:1回20人 ・子ども将棋大会:2回開催延べ38人 ・子ども映画大会:1回230人 (上野が丘) ・親子夏休み工作教室15組 ・子ども映画会227人(53千円) ・水生生物観察講座15人(8千円) ・夏休みわくわく体験教室10人(15千円) ・くるびかLED工作教室15人 ・春休み子どもクラフト教室28人(12千円) (塩田) ・夏休み川遊びin神川40人(0千円) ・星空観望会6人(8千円) ・夏休み学習室開放:延べ16日 238人(0千円) ・鮭を訪ねて日本海バスツアー30人(8千円) ・スノーシューで遊ぼう、冬の探検隊25人(0千円) ・山極勝三郎先生について学ぼう10人(8千円) ・ものづくり教室in長野県工科短期大学第1回10人(0千円) ・ものづくり教室in長野県工科短期大学第2回15人(0千円) ・親子クリスマスケーキづくり14人(6千円) ・子ども映画会125人(35千円) (川西) ・夏の川西こども広場(3日間)53人 (いかだ乗り、キッズお料理教室、川西の鉱物・化石探検) ・冬の川西こども広場(2日間)28人 (昔ながらのお正月あそび、書道教室(書初め)) ・春の川西こども広場(お楽しみ映画会)103人 ・親子自然観察会13人 ・スノーシューをはいて雪原にでかけよう! 13人	城南 65 上野が丘 88 塩田 65 川西 150	・継続して実施する。
					丸子	丸子公民館	・ひびきあい教室5講座(年間10回)40人 ・夏休み親子ひびきあい教室3講座37人 ・体験塾4回137人	656	・継続して実施する。 ・ひびきあい教室5教室10回開設。 ・夏休みひびきあい教室開設。 ・体験塾4回開設。
					真田	真田中央公民館	・わんぱく森林塾教室6回86人	96	・内容の一部と名称を変更して実施する。
					武石	武石公民館	・レッツちゃれんじ2回30人 ・映画鑑賞2回170人 ・魚のつかみ取り100人 ・書道教室25回180人	委託料470	・継続して実施する。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組	
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	44	青少年育成関係団体連絡会	自治会長、分館長、民生児童委員、少年補導員、子ども会育成会、小中PTA、保育園保護者会、学校長、保育園長等の青少年関係団体が集まり、青少年育成について協議する。	市民	上田	西部公民館 上野が丘公民館 塩田公民館 川西公民館	(上野が丘) ・青少年育成推進連絡会議3回(塩田) ・塩田地区青少年育成関係団体連絡会3回(川西) 青少年育成関係団体連絡会3回 73人	0	・継続して実施する。	
					丸子	丸子公民館	・丸子地域少年補導委員会を開催し、地域内の小・中・高校の現状報告と懇談。	0	・関係団体、地域との情報交換を図り、情報を共有すること。	
					真田	真田中央公民館	・青少年健全育成推進員会議開催1回	114	・関係団体、地域との情報交換を図り、情報を共有すること。	
					武石	武石公民館	・武石地域青少年育成連絡協議会を開催し、地域内の小・中学校から生徒指導についての現状報告、武石駐在所からは少年補導の実態についての報告等受け、懇談。	0	・関係団体、地域との情報交換を図り、情報を共有すること。	
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	45	上田青少年問題協議会	青少年育成のための施策を協議するための会議を開催。小委員会を設置し、「青少年善行表彰」及び「家庭の日の作文」の審査を行う。	全市民	上田		・開催せず	0	・24年度中は未開催。全市的な課題発生時に開催する方針としている。	
					丸子					
					真田	生涯学習課				
					武石					
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	46	公民館事業(青少年育成推進大会)(青少年育成自治会懇談会)	青少年対象の各種公民館事業を通じ、青少年育成を図る。 ・青少年育成推進大会 公民館ごとに青少年育成に関わる団体の連携や情報交換を目的として、青少年育成地区市民会議を開催 ・青少年育成自治会懇談会 各自治会から選出されている青少年推進指導員が中心となり、地域での青少年育成のため自治会懇談会を開催。	全市民	上田	中央公民館 西部公民館 城南公民館 上野が丘公民館 塩田公民館 川西公民館	(中央) ・青少年育成市民のつどい 302人 [18千円] ・青少年育成自治会懇談会 延べ50回開催 ・青少年育成ブロック懇談会 5地区264人 [40千円] (城南) ・青少年育成市民会議:2回延べ331人参加(H24年度) ・青少年自治会懇談会:508人(H24年度) (上野が丘) ・青少年の未来を考える集い:182人 [22千円] ・青少年育成自治会懇談会:32自治会495人 [54千円] ・青少年育成推進指導者研修会:191人 [8千円] ・青少年育成推進指導員会:4回 (川西) ・子どもの明日を考	中央 61 城南 123 上野が丘 84 川西 8	・継続して実施する。	
					丸子	丸子公民館	・11月に「子どもの明日を考える集い」を開催。各種団体、自治会関係者100人参加	8	・11月に「子どもの明日を考える集い」を開催予定。	
					真田					
					武石					
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	47	子ども医療費給付金事業	子育て家庭の負担軽減を図るため、医療費の補助を行う。	0歳から中学校3年生まで	上田	子育て・子育て支援課	・子ども医療費給付金事業改正実施 改正前 通院費 0歳から小学校3年生まで 入院費 0歳から中学校3年生まで 改正後(平成24年4月1日) 0歳から中学校3年生までの通院費適用拡大。(所得制限なし。) * 児童:件数29,140人、支給延件数202,393件	扶助費 264,206	・児童の現状にあった適正な給付事業の実施要件を検討した結果、0歳から中学3年生までの通院入院医療費が福祉医療の支給対象となりました。(H24.4.1制度拡大)	
					丸子					
					真田					
					武石					
* 平成24年度事業目標達成										

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	48	福祉医療(関係分)	子ども医療費給付。 出生から中学校3年生までの通院費及び入院費を給付。(所得制限なし。) 母子・父子家庭等医療費給付。 母子・父子家庭の医療費を給付。(所得制限あり。) 重度心身障害(児)者医療費給付。 重度の障害を有する児童の医療費を給付。(所得制限あり。)	出生から中学校3年生まで 18歳未満の児童及び養育しているひとり親 重度心身障害(児)者	上田 丸子 真田 武石	福祉課	児童:件数29,140人、支給延件数202,393件 母子家庭等:件数3,716人、支給延件数33,479件 父子家庭:件数170人、支給延件数1,237件 重度心身障害児(0~12歳):件数211人、支給延件数2,597件	264,206 母子 61,942 父子 2,357 6,205	・現状にあった適正な給付事業の実施。
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	49	子ども手当支給	中学校3学年修了前の児童を養育している者に対して手当を支給。(所得制限なし。)	0歳から中学校3年生まで	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・受給者数:16,207人 ・児童数:21,455人 ・子ども手当受給率:92.4%(全市)	・(0歳~小学校修了前) 被用者...972,349 非被用者... 569,255 ・(小学校修了後~中学校修了前) 628,883	・制度内容の周知を図るとともに未請求者にも呼びかけ、受給率をあげる。
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	50	児童扶養手当支給	父又は母と生計を同じくしていない児童を監護している母又は父等に手当を支給。(所得により一部支給停止、全部支給停止あり。)	18歳未満の児童を養育している母親等	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・児童扶養手当支給 全部支給延月数 9,099件 一部支給延月数 8,767件 2子加算延月数 6,949件 3子以降加算延月数 1,855件	672,729	・事実婚の確認、世帯認定など、受給資格要件の調査を行っていく。
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	51	父子家庭児童扶養手当	* NO.50 「児童扶養手当事業」において実施		上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課			
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	52	母子・父子家庭激励事業	児童入学卒業祝品を支給。(小学校入学時:図書券、中学卒業時:図書券) 交通災害遺児激励金を支給。(図書券)	18歳未満の母子家庭・父子家庭・交通遺児	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・24年度 入学116人(3,000円図書券) 卒業170人(3,000円図書券) 交通災害児23人(5,000円図書券)	973	・対象者の把握について、個人情報保護に充分考慮する。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	53	保育料の軽減措置	国の保育料基準額表より低額な基準の設定や延長保育料などの特別保育料の見直しを行う。 また、多子世帯の負担軽減と保育料の減免措置について、更に検討を進める。	0歳から小学校就学前までの乳幼児の保護者	上田	保育課	・市保育料は国基準より約31%低く設定 入所児童 1人目 36,159人 同時通園 2人目 7,753人 第3子軽減対象者 7,191人	・総軽減額 418,121 ・1人の児童が入園している場合の軽減額 304,392 ・2人の児童が入園している場合の軽減額 55,975 ・第1子が中学生で第3子以降の児童が入園している場合の軽減額 57,754	
					丸子				
					真田				
					武石				
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	54	私立保育園補助制度	私立保育園の安定的な運営を確保するため、一定の基準による運営費の負担や特別保育や障害児保育などの実施に対して補助を行う。	市内の私立保育園に入園している児童	上田	保育課	(負担金) 955,669(対象児童数延べ15,078人) 私立10園 941,955 管外 10市町、管外3園 13,714 (補助金) 118,690(10園合計) 職員加給金 22,973 1歳児保育 18,420 障害児保育 7,832 延長保育 56,500 一時預かり 5,303 乳児保育 3,825 待機児童 3,837	歳出 (負担金) 955,669 (補助金) 118,690 歳入 (負担金) 390,424 (補助金) 52,417	・負担金 継続 ・補助金 病児・病後児保育事業(体調不良児対応)を補助対象に拡大
					丸子				
					真田				
					武石				
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	55	私立幼稚園補助制度	私立幼稚園が保護者の経済的な負担を軽減するため授業料等の減免を行った場合に、当該幼稚園に対して一定の補助を行う。 私立幼稚園の健全な運営を確保するための一定の補助を行う。	市内の私立幼稚園に通園している2歳以上の児童	上田	保育課	・市内私立11園へ補助 ・上田地域 9園 12,421 ・丸子地域 1園 912 ・真田地域 1園 1,704	15,037	・地域ごとに異なっていた補助基準を統一。 ・県補助の0.8/10を交付(5.1の入園児数が定員の50%に満たない園については補助率1.2/10)とし、H23から3年間で段階的に引き上げる。
					丸子				
					真田				
					武石				
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	56	認可外保育施設補助制度	認可外保育施設通園児の保護者負担軽減及び児童の処遇向上のため、認可外保育施設が実施する事業に対して補助を行う。	認可外保育施設に在園する児童の保護者及び当該施設職員	上田	保育課	・保育料減免 3園 延 510人 ・乳児保育 2園 延 31人 ・1~2歳児保育 4園 延 293人 ・延長保育 2園 延 52人 ・夜間保育 1園 延 82人 ・休日保育 1園 延 237人 ・一時保育 3園 延 3,245人 ・職員健康診断 3園 延 23人	13,217	・県補助に合わせて、乳児及び1~2歳児保育事業等を充実させた。
					丸子				
					真田				
					武石				
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	57	要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業	経済的な理由によって、就学困難と認められる小中学校の児童生徒の保護者に対して就学に必要な経費を支給する。	小中学生	上田	学校教育課	・小学生 要保護10人・準要保護627人 合計637人 ・中学生 要保護3人・準要保護355人 合計358人	80,971	・継続して実施する。
					丸子				
					真田				
					武石				

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	58	特別支援教育就学奨励費補助事業	小中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者負担を軽減し、その負担能力に応じ、特別支援学級の就学に要する経費に対して支給する。	小中学生	上田	学校教育課	・支給実績(対象児童生徒数)(4地域) 小学校 194人 中学校 80人 合 計 274人	10,568	・継続して実施する。
					丸子				
					真田				
					武石				
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	59	通学費負担軽減事業	小学生、中学生及び高校生が通学のため要する経費について保護者の負担を軽減する。	小中高学生	上田	学校教育課	・支給実績(対象児童生徒数)(4地域) 小学校 197人 中学校 596人 合 計 733人	40,532	・継続して実施する。 ・合併前の補助基準により地域ごとに対応しており、調整が必要(4地域共通)。
					丸子				
					真田				
					武石				
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	60	奨学事業	経済的事情により高等学校等進学が困難な生徒に対し、学資を貸与し就学の機会と学業の継続を保障する。	高校生	真田	真田地域教育事務所	・24年度新規貸付決定者 5名	(貸与総額) 9,180	・償還滞納者の増加による対策を強化していく必要がある。
					真田				
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	*計画策定後に新たに実施した事業	上田市高等学校通学費等補助事業	生徒が高校等へ通学するに当たり、保護者の通学に要する費用の負担を軽減する。(補助要件に該当する場合に補助金を交付する。)	高校生	上田	教育総務課	・対象生徒数 182人	8,259	・補助事業の実施により、保護者の負担軽減を図る。
					丸子				
					真田				
					武石				
子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	*計画策定後に新たに実施した事業	私立幼稚園就園奨励費補助制度	私立幼稚園が保護者の経済的な負担を軽減するため授業料等の減免を行った場合に、当該幼稚園に対して一定の補助を行う。	私立幼稚園に通園している市内の満3歳以上の児童	上田	保育課	・対象者数 880人(市内私立11園、市外私立1園合計) ・従来条件 第1子対象者 525人 第2子対象者 61人 第3子以降対象者 1人 ・新条件 第2子対象者 273人 第3子以降対象者 20人	・歳出 84,775 ・歳入(補助金) 20,356	継続
					丸子				
					真田				
					武石				
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	61	母子健康手帳の交付時の相談、妊娠相談(外国語版母子手帳の公布)	*NO.75「乳幼児健康診査・予防接種等問診票について外国語版の整備」において実施	全妊婦	上田	健康推進課			
					丸子	健康福祉課(健康推進係)			
					真田	健康福祉課(健康推進係)			
					武石	健康福祉課(健康推進係)			

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度への 課題・取組
母性・ 父性が育 ち子どもが 健康に育 つまちづく り	62	父親のための育児テキスト の配布	妊娠届時、将来の父親のための育児書として基 本的な育児の知識及び父親の役割についてのテキ ストを配布し、共に学びきっかけとしてもらう	全妊婦とその 夫	上田	健康推進課	・母子手帳交付時に「父親の育児テキスト」配布 全妊娠届出者	120	・妊娠届出時、父親の育児テキスト周知 と両親学級ご案内の実施
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)			
					真田	健康福祉課 (健康推進係)			
					武石	健康福祉課 (健康推進係)			
母性・ 父性が育 ち子どもが 健康に育 つまちづく り	63	妊婦一般健康診査	妊婦一般健康診査受診券の発行	全妊婦	上田	健康推進課	・妊婦一般健康診査受診券の受診数 15,956人	133,803	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)			
					真田	健康福祉課 (健康推進係)			
					武石	健康福祉課 (健康推進係)			
母性・ 父性が育 ち子どもが 健康に育 つまちづく り	64	両親学級	父親と母親の両方を妊娠中の教室 目的:お互いに協力して生まれてくる赤ちゃんを 迎えるため準備 (教室内容お父さんの妊婦・沐浴体験等)	妊婦及び家 族等	上田	健康推進課	・上田、丸子の2会場で開催 36回実施 妊婦334人 夫245人 その他家族21人 合計804人	446	・教室参加者向上に向けての取り組み ・教室内容の充実(禁煙等の内容追加) ・アンケートによる教室内容の評価
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)			
					真田	健康福祉課 (健康推進係)			
					武石	健康福祉課 (健康推進係)			
母性・ 父性が育 ち子どもが 健康に育 つまちづく り	65	妊婦家庭訪問	要に応じて家庭を訪問の実施	妊婦	上田	健康推進課	・妊婦訪問5人	0	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)			
					真田	健康福祉課 (健康推進係)			
					武石	健康福祉課 (健康推進係)			
母性・ 父性が育 ち子どもが 健康に育 つまちづく り	66	「安心安全な出産を迎える ために」講演会の開催		妊婦及びそ の家族	上田	健康推進課	/	/	/
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)			
					真田	健康福祉課 (健康推進係)			
					武石	健康福祉課 (健康推進係)			
母性・ 父性が育 ち子どもが 健康に育 つまちづく り	67	新生児訪問 妊産婦家庭訪問	保健師・助産師などによる新生児・産婦を対象と した家庭訪問	新生児およ び産婦	上田	健康推進課	・新生児訪問 1,282人 ・産婦訪問 1,268人	2,480	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)			
					真田	健康福祉課 (健康推進係)			
					武石	健康福祉課 (健康推進係)			

* NO.86「未来のお父さんお母さん支援事業」において実施

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度への 課題・取組
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	68	赤ちゃん手帳	出生届で時配布育児テキストとして「赤ちゃん手帳」の配布、育児の基本情報や健康教育のテキストとして活用	全出生児の保護者	上田	健康推進課	・出生届の提出時に健診や育児に関する情報提供の掲載冊子「赤ちゃん手帳」の配布 ・配布対象:出生児全員と3歳以下の転入児等	No1に同じ	・テキストの効果的な活用
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)			
					真田	健康福祉課 (健康推進係)			
					武石	健康福祉課 (健康推進係)			
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	69	ファーストベビー教室	初めての育児をしている母親等を対象に、子どもへの愛着形成の確立、情報交換・交流の場として開催	第1子を子育て中の保護者	上田	健康推進課	・開催数12回/年 参加者数208人	35	・教室の周知 ・内容の充実
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)			
					真田	健康福祉課 (健康推進係)			
					武石	健康福祉課 (健康推進係)			
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	70	乳幼児健診及び乳幼児健診時健康教育	4か月・10か月・1歳6か月・3歳児健診・2歳児歯科検診の実施	0歳から3歳の子どもと保護者	上田	健康推進課	受診率(受診数/対象児数) 4ヶ月 97.9%(1,231/1,258) 10ヶ月 93.1%(1,195/1,283) 1歳6か月 95.2%(1,287/1,352) 2歳 77.7%(1,068/1,375) 3歳 93.8%(1,214/1,294)	37,980	・健診時実施している歯科健康教育の充実(フッ素添加物の紹介追加)
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)			
					真田	健康福祉課 (健康推進係)			
					武石	健康福祉課 (健康推進係)			
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	71	専門健診	小児科医師、整形外科医師による専門健診対象:健診後経過観察が必要な児	0歳から3歳の子どもと保護者	上田	健康推進課	・小児科医師による専門健診 実施回数 3回 受診者数19人 ・整形外科医師による専門健診(4か月児と同時実施) 実施回数 1回受診者数1人	69	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)			
					真田	健康福祉課 (健康推進係)			
					武石	健康福祉課 (健康推進係)			
* 基本項目 から変更									
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	72	子どもの事故予防	事故予防の啓発と知識の普及 ・各健診時チェックシートによる啓発 ・「子どもの病気・けが・知っておきたい手当ての仕方」講演会の開催 ・乳幼児健診等で情報提供・保健指導	0歳から3歳の子どもと保護者	上田	健康推進課	事故予防の啓発と知識の普及 ・各健診時チェックシートによる啓発 ・「子どもの病気・けが・知っておきたい手当ての仕方」講演会 医師による講話 開催3回(受講人数92人) 救急救命士による講話・実技 開催数 1回(受講人数11人) ・乳幼児健診等で情報提供・保健指導	105	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)			
					真田	健康福祉課 (健康推進係)			
					武石	健康福祉課 (健康推進係)			
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	73	歯科相談・教室	乳幼児健診、教室時歯科指導	0歳から3歳頃の子どもの保護者	上田	健康推進課	乳幼児健診、教室での指導人数 ・7ヶ月教室 895人 ・おたんじょう教室 854人 ・両親学級 192人	2590	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)			
					真田	健康福祉課 (健康推進係)			
					武石	健康福祉課 (健康推進係)			

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組	
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	74	予防接種	乳幼児から小・中学校における各種定期予防接種等	乳幼児から高校生まで	上田	健康推進課	乳幼児接種率 ・集団(生ポリオ1回目62.9%・2回目55.1%) ・個別(・BCG79.8%・三種混合1期1回目77.0%・2回目76.0%・3回目73.6%・追加39.5%・麻疹風しん1期79.0%・2期92.2%・不活化ポリオ48.1%) 児童(集団)・三種混合第2期98.3% 生徒(個別)・麻疹風しん3期(中学1年)84.7%・4期(高校3年)75.9% 任意接種(平成23年2月から開始) ・子宮頸がんワクチン78.9%・ヒブワクチン85.5% 小	360,478	定期予防接種の受診勧奨(子宮頸がんワクチンについては当面受診勧奨はせず、厚生労働省の指示により実施)	
						丸子 健康福祉課(健康推進係)				
						真田 健康福祉課(健康推進係)				
						武石 健康福祉課(健康推進係)				
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	75	乳幼児健康診査・予防接種等問診票について外国語版の整備	外国語版の整備	外国籍の保護者	上田	健康推進課	外国語版(常備しているもの) ・母子健康手帳(ポルトガル語、英語、タイ語、インドネシア語) 中国語、スペイン語、ハングル語、タガログ語) ・保健ごよみ(ポルトガル語) ・乳幼児健診問診票(スペイン語、ポルトガル語、英語) ・予防接種問診票(ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語)	40	継続	
						丸子 健康福祉課(健康推進係)				
						真田 健康福祉課(健康推進係)				
						武石 健康福祉課(健康推進係)				
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	76	「いいお産の日」への協力	11月3日(いいお産の日)にあわせ、講演会等を実施している団体(看護協会・助産師会・母乳育児をすすめる会)に協力。	妊婦とその家族	上田	丸子 真田 武石	市立産婦人科病院	0	継続して実施する。	
										丸子
										真田
										武石
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	77	母乳育児の推進	母乳育児に関する知識の普及・相談	6歳以上成人まで	上田	丸子 真田 武石	市立産婦人科病院	0	継続して実施するが、母乳育児率を上げるため、母乳育児に関する知識等の普及について、積極的に実施する。	
										丸子
										真田
										武石
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	78	健康相談行事	医師と協力して健康相談を実施(随時)	市民	上田	健康推進課	健康相談実施せず	0	要望に応じ実施	
						丸子 健康福祉課(健康推進係)				
						真田 健康福祉課(健康推進係)				
						武石 健康福祉課(健康推進係)				
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	79	不妊治療費の助成	不妊症治療の助成、情報提供や相談体制、不妊治療の関する啓発	妊娠を望む夫婦等	上田	健康推進課	補助金交付者数47人	2,362	継続	
						丸子 健康福祉課(健康推進係)				
						真田 健康福祉課(健康推進係)				
						武石 健康福祉課(健康推進係)				

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	*計画策定後に新たに実施した事業	子育て中の母親の健康づくり	子どもが生まれてもスポーツ等に参加できるための地域づくり。 子育て中の人のための健康教室	子育て中の親	上田	健康推進課		0	子育て中に限定せず実施
					丸子	丸子社会教育課			
					真田	健康福祉課(健康推進係)	子育てママの健康づくり教室 12回/年 参加人数102人	65	継続
					武石	武石地域教育事務所 武石健康福祉課			
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	80	乳幼児期から児童生徒までの食育(離乳食・幼児の食事相談)		0歳から3歳児とその保護者	上田	健康推進課	乳幼児の食事の相談・教室 ・乳幼児健診(4、10、1.6、2歳、3歳児健診)時における食事指導 集団指導 4,987人 個別指導832人 食事相談 ・定例相談日 122回 486人 ・定例外(電話) 28人 ・定例外(来庁) 109人 ・定例外(訪問) 2人 ・子育てランド育児相談 39人 ・専門健診 3回/年 19人	1,131	保健師、助産師、歯科衛生士、保育士等関係者との連携の取れた事業の実施 ・効果的な資料の作成
					丸子	健康福祉課(健康推進係)	教室 ・7か月児教室 58回 893人 ・おたんじょう教室 50回 854人 ・乳幼児フォロー教室 11回 19組 ・取り分け離乳食教室 8回 80組 ・両親学級 9回 192人 ・プレマクッキング 8回 144人		
					真田	健康福祉課(健康推進係)			
					武石	健康福祉課(健康推進係)			
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	80	乳幼児から児童生徒までの食育	PTA試食会等保護者が給食を知り、学校給食への理解を深める。 ・学校給食を活用した、計画的な食育の推進。 ・身支度調査・残菜調査、栄養士による講話等。(学校ごとに計画実施する。)	小中学生とその保護者	上田	学校教育課 学校給食センター	・学校の計画による取組み。 ・全校集会等で栄養士の講話を実施 ・PTA活動、学校保健委員会等で保護者を対象に栄養士の講話等を実施。 ・学校給食展の実施 ・来入児保護者を対象に栄養士の講話を実施。 ・PTAを対象にした食育の講話の実施	0	継続して実施する。
					丸子				
					真田				
					武石				
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	80	乳幼児期から児童生徒までの食育	保育園・幼稚園での食育 ・公立保育園・幼稚園での、毎日の給食のサンプル展示。 ・保護者対象の給食試食会開催。 ・栄養士による「子どもの食事」についての講話。	園児及び保護者、公立保育園及び幼稚園職員	上田	保育課	試食会等で講演。 ・公立園全園で給食サンプル展示開始。	0	継続して実施する。
					丸子				
					真田				
					武石				
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	81	管理栄養士の園巡回指導	公立保育園・幼稚園の巡回を行い、各園における食育に関する指導体制の整備	園児及び保護者、公立保育園及び幼稚園職員	上田	保育課	・公立園全園に年2～3回の巡回指導を実施。 ・乳幼児食学習会を2回開催。	0	継続して実施する。 ・個別指導の充実
					丸子				
					真田				
					武石				

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	82	食に関する情報の提供	毎月各家庭に給食だよりを配布し、保護者に給食献立、献立のレシピ、食育関連の情報を提供する。	小中学生及び保護者	上田	学校教育課 学校給食センター	・学校給食センターのホームページで献立表・当日の給食メニュー(写真)を紹介。	0	・継続して実施する。
					丸子				
					真田				
武石									
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	82	食に関する情報の提供	毎月各家庭に給食だよりを配布し、保護者に給食献立、献立のレシピ、食育関連の情報を提供する。	園児及び保護者、公立保育園及び幼稚園職員	上田	保育課	・毎月各家庭へ配布。園独自の給食だよりもあり	0	・継続して実施する。
					丸子				
					真田				
武石									
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	83	地元農畜産物の活用	公立保育園・幼稚園や学校給食の食材に地元農産物を使用する。	園児及び保護者、公立保育園及び幼稚園職員、小中学生	上田	保育課 学校教育課 学校給食センター 農林課	・食材規格表に産地を指定し地元産を納入してもらうようにした。農林水産省の補助事業を実施し地元産使用量が増加した。納入業者に提出してもらう誓約書の中に産地消費への配慮を依頼 ・食育の日に地場産物を使用したメニューを実施し、児童・生徒に周知した。		継続
					丸子	丸子産業観光課 丸子学校給食センター	・食材規格表で産地を指定し地元産を納入してもらうようにした。 ・農林水産省補助事業を実施し、地元産使用量が増加した。		継続
					真田	学校教育課	・地元生産者と連携し地域の青果物を積極的に使用した。		継続
					武石	学校教育課	・地元生産者と連携し地域の青果物を積極的に使用した。		継続
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	84	園児・児童による作物の栽培	学童農園に米・野菜を栽培し、食に関する関心を深める。	園児及び保護者、公立保育園・幼稚園職員、	上田	保育課	・公立保育園及び幼稚園、33園で、米栽培や畑やプランターで野菜等を栽培する。収穫物は給食に利用したり、家庭へ持ち帰る。地域の方との交流もあり。クッキング保育の実施。		・継続して実施する。
					丸子				
					真田				
武石									
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	84	園児・児童による作物の栽培	学童農園に米・野菜を栽培し、食に関する関心を深める。	小学校児童	上田	学校教育課	・公立小学校で米、野菜を栽培することで、自然に触れる機会を持つとともに、地域の農業者との触れ合いや自分で作物を収穫することを通じて、食べ物や生産者に感謝の気持ちを持つことができた。また産地消費や食育の推進を図った。	769 (作業委託料及び土地賃借料)	・継続して実施する。
					丸子				
					真田				
武石									
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	85	食育推進計画の進行管理	食育推進計画に基づく食育推進事業の共有と関係課の役割について	庁内関係課	上田	健康推進課	・食育推進に関する担当者会議	0	・食育の周知から実践に向けた取り組み ・思春期における食育の推進
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)			
					真田	健康福祉課 (健康推進係)			
					武石	健康福祉課 (健康推進係)			

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度への 課題・取組
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	86	未来のお父さんお母さん支援事業	健康な次世代を育てるための思春期から青年期の健康づくり啓発事業 ・成人式でのパンフレットの配布 ・健康な母体づくりのための講演会 ・健康教育「思春期の健康づくり」	妊婦、学校医療関係者、未来のお父さんとお母さん	上田	健康推進課	健康な次世代を育てるための思春期から青年期の健康づくり啓発事業 ・成人式でのパンフレットの配布 ・健康な母体づくりのための講演会 2回 参加者数 39人 ・健康教育「思春期の健康づくり」 6回 受講数1182人	48	・継続 ・命の学級は上田市産婦人科病院担当となる
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)			
					真田	健康福祉課 (健康推進係)			
					武石	健康福祉課 (健康推進係)			
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	87	乳幼児健診 (基本的生活習慣確立)		保護者	上田	健康推進課	/	/	/
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)			
					真田	健康福祉課 (健康推進係)			
					武石	健康福祉課 (健康推進係)			
* NO.70「乳幼児健診及び乳幼児健診時健康教育」において実施									
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	88	適正体重に関する教育の推進		小中学生	上田	健康推進課 学校教育課	/	/	/
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)			
					真田	健康福祉課 (健康推進係)			
					武石	健康福祉課 (健康推進係)			
* NO.91「思春期保健体制の構築及び推進」において実施									
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	89	学校健診	学校保健安全法に定められた健診等の実施。生活習慣病予防のための血液検査の実施。	小中学生	上田	学校教育課	〔児童生徒の健診等〕(4地域) ・健康診断〔内科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科〕の実施(全児童生徒対象:年1回) ・心臓病健診(小学1・4年生、中学1年生:年1回) ・検尿検査(全児童生徒対象:年2回) ・ぎょう虫検査(全児童対象:年1回) ・貧血検査(小学6年生、全中学生:年1回) ・生活習慣病予防健診(小学4年生、中学1年生:年1回)	22,670	・学校保健安全法に定められた健診を適確に行う。また、任意に行っている「児童生徒心臓病健診(小学4年生:年1回)」と「生活習慣病予防健診(小学4年生、中学1年生:年1回)」については、児童生徒の健康管理の面で必要な検診であるため継続実施していく。引き続き、児童生徒の健やかな育成のために健康管理に努めていく必要がある。
					丸子				
					真田				
					真田				
					武石				
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	90	子ども達が自分の身体の状態を知り「健康」、「命」を大切に考えるための取組	実際の「自分の身体」の理解のための教育。睡眠・休養・身体を動かす・清潔等の基本的生活習慣の改善。学童血液検査の事後指導の強化。	小中学生	上田	学校教育課	健康診断の後、「自分の体」に関する学習をしている。(歯・性教育・骨の成長・内臓の役割・体を守る免疫等の指導) 朝食の大切さなど食育指導や、規則正しい食事・排便・睡眠等により心と体が成長するという「生活リズム」の大切さを指導している。(学年に応じた指導を実施) 貧血検査と生活習慣病検査実施後に、栄養士や養護教諭が「保健だより」等を活用し、分析結果や全体の様子、予防方法などを保護者に周知している。また、治療が必要な児童生徒には個別指導を実施している。一部の小学校では、検査終了後、児童に養護教諭が予防指導。	0	・朝食欠食や、早寝早起きなどの生活習慣の乱れから、肥満ややせ、活力のない児童生徒が増加傾向にあるといわれている状況の中、規則正しい生活習慣が児童生徒にいかに必要なことかということ、児童生徒と保護者に周知していくことが重要である。今後、現在の取り組みを基本に、更に指導の強化を図っていく。 ・新たに作成した「早ね早起き朝ごはん」リーフレットの配布。
					丸子				
					真田				
					武石				
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	91	思春期保健体制の構築及び推進	思春期保健連携会議と健康教育の実践	小学生から思春期のお子さんとその保護者等思春期関係者	上田	健康推進課	思春期保健連携会議と健康教育の実践 ・思春期保健連携会議の開催 2回 ＜会議メンバー＞ 産婦人科医師・小中学校・保健所・学校教育課・健康推進課 ・健康教育「思春期の健康づくり」の実施(No.86参照)	48	・思春期保健推進体制の検討(アドバイザーとして産婦人科医師が出席)
					丸子	丸子地域教育事務所 丸子健康福祉課			
					真田	真田健康福祉課			
					武石	武石地域教育事務所			
					武石	武石健康福祉課			

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	92	エイズ教育/啓発	パンフレット(文部科学省から)の配付。 ビデオの貸し出し。 広報掲載。	小中学生	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	(4地域) ・パンフレット等(文部科学省から)の配付:1回 ・世界エイズデー、エイズ検査普及月間等の周知		0 ・エイズ教育は、特に中学生には必要な教育であるためパンフレットの配布や、防止啓発等による周知を引き続き行っていく。しかし、それ以上の取り組みができていないのが課題である。
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	93	喫煙・薬物に対する教育	パンフレット(文部科学省から)の配布及び薬物乱用防止キャラバンカーを計画的に学校に派遣。 ・毎月21日は市民健康づくりの日事業として実施。 ・禁煙ステッカーの作成。 ・媒体を利用した健康教室。	小中学生	上田 丸子 真田 武石	学校教育課 学校教育課 学校教育課 学校教育課 武石健康福祉課	・薬物乱用防止教育研修会の実施 ・各校で薬物乱用防止教室の実施 ・薬物乱用防止教育指導者研修会参加(5校) ・全中学生を対象とした喫煙防止指導パンフレットの配布 ・禁煙教室等の実施		0 ・薬物乱用防止教室、禁煙教室等を引き続き行っていく。児童生徒が自ら考えるような、心に残る授業を行っていくことが課題である。(総合学習の時間等を使っての授業等)
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	94	産院の移転新築	長野病院の隣接地に移転し、立地的集約を図りながら連携を強化し、安全なお産・適切な医療提供を行うとともに、地域内で不足している分娩取扱数の確保を図る。 事業終了	全市民	上田 丸子 真田 武石	産院建設準備室	・建設完了 工事費総額 1,300,000千円		
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	95	医師確保修学資金等貸与制度	市が指定する医療機関の医師として従事しようとする医学部に学ぶ大学生の方などに資金の貸与	医学生等	上田 丸子 真田 武石	健康推進課 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係)	・継続7人(修学 6人・研修1人) 新規3人(修学3人)	25,200	・継続
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	96	助産師確保修学資金等貸与制度	上田市産院の助産師として従事しようとする助産師養成施設で学ぶ方などに資金の貸与	助産師等	上田 丸子 真田 武石	健康推進課 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係)	・新規2人(研修2人)	1000	・継続
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	97	上田市内科・小児科初期救急センターの運営	月曜日～土曜日 20時から23時までの間、小児の初期救急患者を診療する。(電話相談は19時～23時まで)	0歳から15歳以下の子ども	上田 丸子 真田 武石	健康推進課 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係)	・平成16年度から小児初期救急センターとして開設。 ・平成22年度からは内科・小児科初期救急センターとして内科も開設。 ・小児科 受診者数:1,662人、電話相談者数:1,073人、合計:2,735人	44,052	・継続 (なお、平成25年度からは、日曜日及び祝日も開所し、診療等を実施)

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	98	在宅当番医制	上田市医師会、小県医師会、上田小県歯科医師会に委託(平日夜間、深夜、日曜・祝日)	全市民	上田	健康推進課	上田市医師会、小県医師会、上田小県歯科医師会に委託(平日夜間、深夜、日曜・祝日)	12,328	継続
					丸子	健康福祉課(健康推進係)			
					真田	健康福祉課(健康推進係)			
					武石	健康福祉課(健康推進係)			
母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	99	救急情報ネットワークの周知	上田市医師会、小県医師会の協力を得て、医療機関の開院時間外の診療の可否についての消防署を通じた情報提供	全市民	上田	健康推進課	上田市医師会、小県医師会の協力を得て、医療機関の開院時間外の診療の可否についての消防署を通じた情報提供	2,341	継続
					丸子	健康福祉課(健康推進係)			
					真田	健康福祉課(健康推進係)			
					武石	健康福祉課(健康推進係)			
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	100	異年齢交流の実施	幼保小中連携活動として、園児と児童・生徒の交流を実施する。 ・総合学習などで中学生と乳幼児とのふれあい(公立保育園31園、公立幼稚園2園で実施) ・子育て支援センター等でボランティア活動	園児、小中学生	上田	子育て・子育て支援課 保育課 学校教育課	各中学校ブロックごとに、幼保小での園児と児童の交流を行う。 (音楽界、運動会、各種交流事業等)	0	・幼保園と小中学校の交流をよる深める。
					丸子				
					真田				
					武石				
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	101	家庭の日	家庭について考えてもらう機会とし、小中学校生を対象に「家庭の日」の作文を募集し、優秀作品を表彰するとともに啓発活動に活用する。 「家庭の日」の普及・定着を図るため、広報等により啓発活動を推進する。	全市民	上田	生涯学習課	・家庭の日の作文は、小中学校から409作品の応募があり、内7作品を入賞とし、子ども情報誌、市HPにも数作品を掲載した。 ・有線放送により、毎月、「家庭の日」の啓発を行った。 ・第3日曜日とその前日の土曜日上田城櫓等10施設で入館料の減免を行った。	74	・家庭の日の作文について、より多くの小中学生に提出いただけるよう周知に努める。 ・毎月第3日曜日は「家庭の日」であることを広く周知するために、広く記事掲載等を依頼し、啓発に努める。
					丸子				
					真田				
					武石				
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	102	職場体験学習	中学2・3年生で官公庁、商店、病院、サービス業などの協力を得て、実際の仕事を体験することにより、職業観の育成を図る。	中学2・3年生	上田	学校教育課	(主な体験職場) ・保育園、観光課、体育課、図書館、博物館、給食センター等 市役所に関係する施設での受入状況等をまとめたリストを作成した。 ・市役所の他、各中学校が生徒の希望に基づき、独自で病院、企業等での職場体験をさせていただいた。 ・商工会議所主催 キズマート事業への協力	0	・子どもたちが「生きる力」を身に付け、社会人、職業人として自立していくことができるようにするキャリア教育の推進が強く求められている。 ・現在の社会情勢もあり、職場体験学習の受入先の確保が難しくなっている。 ・「上田市ものづくり・キャリア教育推進検討委員会」と連携し、キャリア教育を推進する。 ・職場体験学習についての企業向けパンフレットの配布や、職場体験学習をPRする「のぼり旗」により、職場体験学習の場の拡大と地域への啓発等に努める。
					丸子				
					真田				
					武石				
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	103	うえだこどもまつりの支援	うえだこどもまつり実行委員会を支援する中で、小中高校生のボランティアスタッフを募集し、企画・運営に携わってもらう。	小・中・高校生	上田	生涯学習課	・中学生18人がジュニアスタッフとして参加し、司会進行や催事の運営を行った。	285	・ジュニアスタッフとして大勢の子どもたちに参加してもらい、次世代の地域活動の担い手を養成する事業とする。
					丸子				
					真田				
					武石				

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	*計画策定後に新たに実施した事業	小中高校生ボランティア活動	サマーチャレンジボランティア。	小・中・高校生	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・上田市社会福祉協議会で実施している事業支援。		0 ・参加者募集記事を子ども情報誌等に掲載し支援する。
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	*計画策定後に新たに実施した事業	夏休みの小学生の居場所づくり	夏休みの公民館内に地域ボランティアの指導により学習や体験活動ができる小学生の居場所をつくる	小学生	上田 丸子 真田 武石	上野が丘公民館	(上野が丘) ・上野が丘わいわい塾 55人	上野が丘 36	・継続実施
平成24年度新規事業									
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	104	学力検査・調査を活用した実態把握と指導方法の改善	国・県・市・が実施する学力検査・調査を活用し、児童生徒の学力の実態を把握し分析した結果をもとに、各校で指導方法や授業の改善に取り組む。 ・工夫・改善した事項や課題を学力向上委員会や研修会などで情報を共有し、児童生徒が面白いと感じ、魅力ある・わかる・楽しい授業を実現し、児童生徒の学力向上を目指す。	小中学生	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	市が実施した学力検査 ・小学校は5、6年生が国語と算数を実施。 ・中学校は1、3年生が国語と算数を実施。2年生は国語、数学、社会、理科、英語を実施。	5,881	・小中で継続して結果等が分かるように教科、実施学年などを調整。
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	105	情報機器を活用したわかる授業の実現	学校教育の情報化のため、情報教育担当指導主事が各校の情報担当教員を指導し、教員全体のスキルアップを図る。 学校を訪問して直接支援を行うなど、情報機器を有効活用した、魅力ある・わかる・楽しい授業を実現し、児童生徒の学力向上を図る。	小中学生	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	・情報担当指導主事による学校訪問、支援を年間を通して実施した。また、ICT(情報通信技術)支援員と連携した授業支援等も行い、情報機器活用の拡充を図った。	7,422	・引き続き学校支援の充実に努め、情報機器を効果的に活用し、魅力ある「わかる授業・楽しい授業」を実現し、児童生徒の学力向上を図る。
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	106	集中日本語教室「虹のかけはし」	来日後間もないなどの理由で日本語が理解できない児童生徒に対して、基礎的な日本語や日本の生活習慣を学び、学校生活へスムーズに適應できるよう支援する教室を開設。	外国籍小中学生	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	{修了児童数} 東小学校 1人 南小学校 3人	2,783	・現在集中日本語教室の教員・指導補助員が話せる言語が、ポルトガル語とスペイン語であるため、他の言語を母語とする児童生徒への対応が一つの課題である。 ・対象者の年齢が上がり、中学生の高校への進学に対応する支援も必要となっている。
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	107	特色ある学校づくり交付金	新学習指導要領の「自ら学び自ら考える力などの生きる力を育むこと」による、特色ある教育、特色ある学校づくりの推進を図るため、その中心的な事項である「総合的な学習の時間」の実施に財政的な支援を行う。	小中学生	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	[小学校の主な取り組み](4地域) 北小:花づくり活動、りんご、稲作体験など 丸子中央小:全校花づくり、丸子修学館高校との稲作交流など 傍陽小:地域の方に学ぶ体験活動、児童の体力向上プロジェクトなど 武石小:地域の方々による自然教室・野菜の栽培、収穫祭、英語学習活動など [中学校の主な取り組み](3地域) 塩田中:しおだっ子応援団(環境整備・水耕栽培、行事支援、学習支援・進路相談等) 丸子北中:地域の方を講師に招き、技能や知識を高める「丸子コスモス大学」の実施 真田中:食育を中核とした健康教育の実施	8,551	・地域の特性を生かし、各校で創意工夫をする中で、独自の特色ある教育活動への交付金としていきたい。 [基本分] 小学校1校当たり:95千円～254千円 中学校1校当たり:138千円～238千円 [特別分] 菅平小校技スキー:1,300千円 菅平中校技スキー:1,600千円 [要望分] 学校の意欲と特色を評価する中で交付

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	108	心の教育推進プラン	読書運動 汗を流そう運動 あいさつ運動 スイッチオフ運動 子どもの人権を守る運動 以上5つの運動を学校、地域、家庭が協力して推進する。	全市民	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・公民館の青少年育成推進指導委員会議において運動の推進について説明。	0	青少年育成推進指導員会議等で説明し、引き続き啓発に努める。
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	109	不登校対策としての相談・学習支援事業 (相談所、中間教室)	教育相談所を中心に相談体制を整備するとともに、支援専門員による家庭訪問等にも力を入れ、児童生徒、保護者、学校等の支援を行っている。また、ふれあい教室(中間教室)を市内5ヵ所に設置し、不登校児童生徒の学習支援・相談業務を行う。	小中学生及びその保護者	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	相談件数(4地域) ・教育相談所 1,107件 ・心の教室相談員 13,902件 ・ふれあい教室 1,182件 ・学校、家庭訪問 80回 ・通室生 49人	3,919	・学校、教職員、保護者等との一層の連携を図る。 ・相談業務を行う民間団体との連携を図る。
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	110	心の教室相談員事業	市内全小中学校に対し、心の相談員(県配置)・心の教室相談員(市単独)を配置し、不登校あるいは不登校傾向にある児童生徒への対応及び一般児童生徒への相談業務にあたる。	小中学生及びその保護者	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	・配置学校数(4地域) 小学校 25校 中学校 11校 ・相談件数(4地域計) 小学校 8,665件 中学校 5,237件	24,328	・相談所、教職員、保護者等との一層の連携を図る。
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	111	サポートチーム推進事業	いじめ、暴力行為、少年非行などの問題行動等を起こす個々の児童生徒に着目して的確な対応を行うため、学校、教育委員会、関係機関からなるサポートチームを組織し、地域における支援システムづくりを行う。	小中学生及びその保護者	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	・事務局会議・学校訪問等26回	0	・学校の状況を把握し、必要に応じてサポートチームを活用する。
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	112	上田市文化少年団	子ども文化祭・子ども文化講座の開催。	園児から高校生まで	上田 丸子 真田 武石	文化振興課	・第7回子ども文化講座 9/1上田市民会館大会議室にて実施「民謡・民話 お国めぐり」参加者約70名 ・第12回子ども文化祭 2/9、10上田市民会館ホール・ホワイエにて実施 参加者約1,000名	500	・第12回子ども文化祭は初めて上田市民会館で実施し、地域の方々には子どもたちの活動を知っていただくよい機会とすることができた。この取り組みがより広がりを持つよう、さらに加盟団体を募り、文化少年団事業の充実を図りたい。
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	113	青少年育成事業	子ども会育成会活動の支援と補助 (市内地域の子ども会に配分金を交付)	小中学生	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・上田市子ども会育成連絡協議会に補助金を交付するとともに、単位子ども会育成会活動を支援した。	4,206	・子どもたちが、学校生活では体験できないような事業内容とする。 ・子どもたちが主体性を持ち、自主的に様々な活動に参加し、豊かな心が育つよう、地域の子ども会育成会等の活動を支援する。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	113	青少年育成事業	青少年健全育成事業の実施(丸子地域・武石地域)	小中学生	上田	生涯学習課	・丸子地域青少年指導者協議会に、年4回の体験塾の開催を委託	150	・子どもたちが、学校生活では体験できないような事業内容とする。 ・子どもたちが主体性を持ち、自主的に様々な活動に参加し、豊かな心が育つよう、地域の子ども会育成会等の活動を支援する。
					丸子				
					真田				
					武石				
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	114	青少年派遣交流事業(国際理解・国際交流教育の推進)	国際化が進展している中、児童生徒に国際社会に生きる日本人としての自覚を促し、国際社会に参加、協力できる能力と態度を養い、世界の平和と人類の幸福及び貢献しようとする資質の育成に努めます。	13から15歳まで	上田	学校教育課	・中国寧波市ヘジュニア大使を派遣し、学校訪問等国際交流事業の実施。(合併前から実施している。21年度から全地域対象に参加者を募集している。)	0	・隔年の実施のためH24年度はなし。 ・H25年度は鳥インフルエンザの発生により中止(来年度に延期)。
					丸子	丸子地域教育事務所	・ブルームフィールド市郡へ中学生を派遣し、ホームステイなどを通じた交流や自然・文化体験等を行う。	0	・隔年の実施のためH24年度はなし。 H25年度実施予定。
					真田	真田地域教育事務所			
					武石	武石地域教育事務所			
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	115	青少年ネットワーク会議の充実	丸子地域内の小・中・高等学校の代表者による青少年ネットワーク会議を開催し、学校や地域を越えた協力により、学校や地域における主体的な活動を進める。	12から18歳まで	丸子	丸子地域教育事務所	・4回の会議を開催し、主に各校で取り組んでいる活動について話し合った。 7校合同のあいさつ運動・エコキャップ回収活動・スマイルステーションの年間開催を行った。	0	・引き続き、会議を進める中で子どもたちが主体的にできる活動を、自ら企画し実行する。
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	116	わくわく芸術体験	芸術家を学校に派遣し、プロの演奏家のパフォーマンスを子どもたちが手の届く距離で生の芸術に触れる機会を提供する。芸術に親しみ興味関心を持つきっかけをつくる。	小中学生	上田	文化振興課	・第1・2回:7/18 鬼太鼓座(和太鼓集団) 東塩田小学校 全校318名、川辺小学校 全校630名 ・第3回:9/7 瀧川鯉昇・瀧川鯉ちや(落語家) 長小学校 全校114名 ・第4回:9/14 カール・ヤイトラーWITHウィーン管楽アンサンブル 西内小学校 全校46名 ・第5回:10/3 岡本泰寛・秋本健(オペラ歌手)、大森晶子(ピアニスト) 中塩田小学校 6年102名 ・第6回:11/29 鈴木江美・長谷川忍(オペラ歌手)、山口陽子(ピアニスト) 城下小学校 3・4年135名、合唱部45名 ・第7回:12/4 壱太郎(和太鼓奏者) 塩田西小学校 全校283名	648	・平成24年度は、回数的にも芸術分野的にも大変充実した開催となった。 25年度も児童・生徒に質の高い芸術・芸能を身近で体験してもらえるように、効果的な実施を図りたい。
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	117	上田ときめきサミット会議の開催	市内の各学校(中・高・大・専)の代表者が一堂に会し、上田市について自分の考え等を自由に話していただく、意見交換会形式の会議を開催し、将来の上田市を担う青少年を育成する。	中学生、高校生、大学・専門学校生	上田	生涯学習課	・市内11の大学、短大、専門学校から22名の代表が参加、上田の魅力や課題について語り合った。	73	・若者同士の交流を深めるとともに、地域の将来を担う人材の育成に繋げる事業を実施する。
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	118	成人式	新成人が成人になる自覚を深め、青年の主体性・創造性を活かした事業とするため、新成人による成人式実行委員会を組織し、7会場分散方式で式典を実施する。	20歳	上田	生涯学習課	・市内7会場にて開催し、1,265人の新成人の参加があった、出席率80.1%。	2,202	・今後、より出席率が向上するように努める。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	119	三世代ファミリースポーツ大会	三世代で構成したチームによるゲートボールやマレットゴルフ等大会の開催を老人クラブ連合会に委託し、世代間交流を図る。(年2回開催)	全市民	上田	高齢者介護課	・平成24年8月5日 ゲートボール大会6チーム 80人参加 ・平成24年10月26日 マレットゴルフ大会 60人参加	240	・核家族化などにより世代交流が乏しい中で、簡単なスポーツを通じて交流を図ることにより、地域づくりの一助となり、高齢者の生きがい対策にもつながる。
					丸子				
					真田				
					武石				
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	120	上田市高齢者文化祭	高齢者福祉センターで開催する上田市高齢者文化祭で、園児や児童、生徒がステージ発表をできる場を設けることにより世代間交流を図る。(高齢者文化祭実行委員会へ委託。)	全市民	上田	高齢者介護課	・10月15日・16日開催 参加者2,130人 特別出演 三好町保育園 西丘保育園	300	・高齢者福祉センター等に集う仲間が、日ごろの楽しみの一つとして習ってきたものを、文化祭の場で発表できることや、孫ともいえる子どもたちの特別出演もあり、高齢者の生きがい対策にもつながる。
					丸子				
					真田				
					武石				
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	*計画策定後に新たに実施した事業	青少年活動推進指導者の育成	青少年活動を推進する指導者の育成を図り、青少年団体活動が健全に発展するよう支援を行います。	全市民	上田	丸子地域教育事務所	・丸子地域青少年指導者協議会に指導者養成講座の開催を委託。	0	・青少年指導者協議会が中心になり、スキルアップを図り、子ども会関係者・分館役員等に向けての研修会を開催する。
					丸子				
					真田				
					武石				
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	121	総合型地域スポーツクラブへの参加	身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブを支援する。 ・子どもから高齢者まで(多世代)、様々なスポーツを愛好する人々が(多種目)、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営される。	全市民	上田	スポーツ推進課	・市内5スポーツクラブの合同会議を開催し、情報交換を行った。また、会員増加のためのチラシを作成し、関係団体、施設等に配布した。	2,000	・各スポーツクラブの情報交換の機会を増やし、合同で開催する事業の企画等を行い、クラブ加入者の増加につなげるための、事業の充実を図る。
					丸子				
					真田				
					武石				
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	122	スポーツ少年団	就学児童や中学生(種目により異なる)を対象としたスポーツ活動を24種目34団体において実施。 ○スポーツ少年団活動の充実。	小中学生	上田	スポーツ推進課	・上田地域26種目34団体に登録団員数2,048名、丸子地域5種目7団体に登録団員数120名、真田地域1種目1団体に登録団員数30名で年間を通じて活動。	2,050	・登録団員数が減少傾向にあるため、広報等による周知の徹底を図り、多くの子どもたちの参加により、より一層活動の充実を図る。
					丸子				
					真田				
					武石				

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組	
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	123	スポーツ教室及び各種スポーツ大会	わくわくスポーツランド:月一回、親子で参加して、ニュースポーツを楽しみ、人とのふれあいやきずなを深める。 スポーツ講習会:ケガの予防と応急手当・学童野球大会・ファミリービーチホール大会・ジュニアビーチボール大会・マレットゴルフ大会・少年スポーツ教室の開催。	全市民	上田	中央公民館 西部公民館 城南公民館 上野が丘公民館 塩田公民館 川西公民館	(城南) ・ジュニアビーチボール大会:21チーム97人(28) ・学童野球大会:12チーム161人(13) (上野が丘) ・上野が丘ガッツクラブ小学生対象:5団体79人 (川西) ・学童野球大会8チーム120人 ・川西剣道教室 680人	城南 41 上野が丘 0 川西 24	継続して実施する。	
					丸子	丸子公民館	・ジュニアサッカー教室40回100人 ・ジュニアソフトテニス教室35回27人 ・弓道教室18回13人 ・少年少女柔剣道教室35回50人 ・ジュニアスケート教室1回91人 ・ちびっこナイト-1回26人	1,289		継続して実施する。
					真田	真田中央公民館	・スポーツ教室10種14教室 288人	委託料2,800		継続して実施する。
					武石	武石公民館	・ジュニアスポーツ教室剣道ほか10講座	委託料1,200		継続して実施する。
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	124	学校評議員制度	学校が保護者や地域住民の信頼に応え、家庭や地域と協力して一体となって子どもたちの健やかな成長を図るため、小中学校各校に6人までの学校評議員をおき、意見・提言をいただきながら地域に開かれた学校づくりを推進する。(学校評議員の来校及び教員との懇談回数を3回以上。)	小中学生	上田	学校教育課	・全校で計189人に評議員を委嘱(4地域) ・年1回以上会議開催	1,029	・学校が、保護者や地域住民の信頼に応え、家庭や地域と連携協力し、子どもたちの健やかな成長を図る。	
					丸子					
					真田					
					武石					
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	125	学校ISO事業	学校における環境の負荷の低減や環境保全などの活動を、職員及び児童生徒が共に取り組み、その結果を記録し、見直すシステムを構築することにより、上田市の川や山、きれいな空気を守り、更には、地球温暖化の防止を目指す。	小中学生	上田	学校教育課	・全校が学校版「ISO」環境にやさしい学校づくり事業」に取り組んだ。 【主な内容】 ・省エネの推進(節電、節水等) ・ごみの分別、リサイクルの推進 ・環境美化活動の実施 など ・こどもエコガイドの活用	1,080	・「環境にやさしい学校づくり」事業を継続して実施し、子どもたちが環境保全のためにできることを学び、日常生活で実践する態度の育成に努める。	
					丸子			30		
					真田			0		
					武石			0		
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	126	教職員研修事業	児童生徒の価値観の多様化と感覚の変化を受け、学校が抱える課題は大きくなってきている。直接児童生徒に接し、指導に当たる教師の資質の向上と使命感の高揚を図り、学校教育の充実に寄与する。	教職員	上田	学校教育課	・全校、全支会ごとに実施(4地域)	1,500	継続して実施する。	
					丸子					
					真田					
					武石					
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	127	教育関係者(保育士・教員)の研修会の開催	男女共同参画の視点に立った保育や幼児教育を推進するため、豊かな感性と人権感覚を養うための研修会を開催し保育士、教諭等の資質の向上を図る。	保育士、教職員	上田	人権男女共同参画課	・未実施	0	・保育課等と情報交換をしながら実施を検討。	
					丸子					
					真田					
					武石					
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	128	障害児の就学指導	心身に障害を持つ就学前児童については、幼稚園・保育園・学校の担当者と連携をとりながら障害の状況を的確に把握し、その子の心身の発達に、適切、かつ最大限に発揮される教育の場を見出し、その子が喜んで就学できるようにする。	幼保小中の対象者	上田	学校教育課	・判定会議開催回数 8回 ・判定者数 183人 ・相談者数 275人	682	・就学相談の充実。	
					丸子					
					真田					
					武石					

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度への 課題・取組
次代へ つなく心 豊かな自 立した人づ くり	129	学校施設等の整備	学校は地震災害時の避難場所であり、耐震診断結果に基づき順次補強工事を行う。 屋内運動場の非構造部材の耐震化を平成24年度から3年間で実施する。 日常的な営繕工事を計画的に実施する。	小中学生	上田 丸子 真田 武石	教育総務課	・14校25棟の耐震補強工事を実施し、これにより補強に対応する建物の耐震化は終了した。 ・うち屋内運動場5校5棟については、非構造部材耐震化(主に照明・天井材・ガラスの落下防止)を同時施工 ・営繕工事等の施設整備工事を337件実施	(施設整備事業費・修繕料) 492,029	・屋内運動場の非構造部材の耐震化とともに、日常的な営繕工事を学校と連絡を密にして計画的に進める。
次代へ つなく心 豊かな自 立した人づ くり	*計画 策定後 に新た に実施 した事 業	通学区域の弾力的運用	通学区域の弾力的運用を図り、調整区域制度や小規模特認校制度の導入を検討します。	7歳から15歳まで	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	・保護者の共働き、心身の状況などで、柔軟に対応している。小学校16件、中学校8件	0	・継続して実施する。
次代へ つなく心 豊かな自 立した人づ くり	130	校長・園長合同会議	公私立園長、小中学校長の合同会議を開催(年1回) 中学ブロックごとに現状確認や相互交流などの連携事業について協議する。 幼保小中の教職員の交流・研修会の実施。	幼保小中の 園長・校長	上田 丸子 真田 武石	学校教育課 子育て・子育て支援課 保育課	・6月に開催。	0	・継続して実施する。
次代へ つなく心 豊かな自 立した人づ くり	131	幼年教育関係者懇談会	子どもの連続した成長をつなく観点で幼保の年長児担任・主任と小学校1年生の担当・主任を対象に実施。 疑問点や要望、連携における課題、入学に際しての課題、交流などについて意見交換をする。	幼稚園と保 育園の教職 員、小学校 1学年担当 職員等	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課 保育課 学校教育課	・幼保小の連携に関する研修会をして講演会を開催した。 講師:汐見稔幸先生(白梅学園大学 学長) 参加者数:115名	50	・懇談会の再開を検討する。
次代へ つなく心 豊かな自 立した人づ くり	132	幼年教育研究会	幼稚園、保育園及び小学校が協力して幼年教育の向上発展について活動する。	幼稚園と保 育園の教職 員、小学校 1学年担当 職員等	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課 保育課 学校教育課	・7月13日 上田市幼年教育研究会総会・講演会を開催 ・7月31日 塩尻保育園公開保育実施 ・11月20日 東小学校公開授業実施	0	・継続して実施する。
次代へ つなく心 豊かな自 立した人づ くり	133	家庭教育講座 (家庭教育セミナー) (事故予防・救急法教室) (子育て応援講座)	家庭教育セミナー:子育てに悩みや疑問を持つ母親を対象に連続講座を開催。 お母さんのためのレベルアップ講座:子育ての身近なテーマについて学ぶ。 子育て教養講座:家庭教育充実講座:子育て応援講座を開催。	生後1ヶ月 から入園前 の児童	上田 丸子 真田 武石	中央公民館 西部公民館 城南公民館 上野が丘公民館 塩田公民館 川西公民館 丸子公民館 真田中央公民館	(中央) ・ベビーサイン講座 28回延べ404人 ・あかちゃん広場(育児相談、ベビーピクス、ベビーヨガ等) 12回延べ300人、親子150組 ・親子ふれあい広場 12回延べ463人、親子231組 ・料理教室(子育て応援講座等)5回延べ77人 ・家庭教育セミナー 91組183人 (城南) ・親子すくすく広場:20回延べ545人(H24年度) (上野が丘) ・親子ふれあい広場18回延べ326人親子147組 ・子育てセミナーすくすく4回延べ48人親子24組 ・お母さんのための子育て料理講座3回57人親子33組 ・お母さんのための料理講座2回42人親子26組 (川西公民館) ・親子ふれあい広場 23回 延べ414人	中央 740 城南 446 上野が丘 398 川西 303	・継続して実施する。
							・親子で遊ぼうグーチョキパ	240	・継続して実施する。
							・かるがも教室 10回12組延べ 136人	201	・内容の一部と名称を変更して実施する。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	134	NP(ノーバディーズ・パーフェクト)プログラム	育児不安を抱える親等に、だれでも完璧な親がないことを参加者同士の話し合いのなかで気づき、不安を解消してもらうためのプログラムを実施する。	子育て中の親子	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・育児に不安を抱える親向けプログラム 1コース 10人 ・一般の親向けプログラム 4コース 30人 ・若年層の親向けプログラム 1コース 6人 ・子育てに不安を抱える親子向けプログラム 1コース 5人	625	・継続
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	135	ブックスタート事業	あかちゃんが初めて出会うのにおすすめの絵本をプレゼントし、絵本を通じて、家庭における子どもの育ち、親子ふれあいの時間づくりを支援する。地域の特色を生かしながら、各地域の4ヶ月健診時に実施する。	0歳	上田 丸子 真田 武石	上田図書館 丸子図書館 真田図書館 武石地域教育事務所	・プレゼント絵本の読み聞かせ ・絵本のプレゼント冊数 2,023冊 ・プレゼント絵本の読み聞かせ ・絵本のプレゼント冊数 312冊 ・プレゼント絵本の読み聞かせ(5回) ・絵本のプレゼント122冊 ・プレゼント絵本の読み聞かせ ・絵本のプレゼント冊数 21冊	1,556 238 94 17	・保健担当課と協力し、健診前の広報活動を継続していく。 ・ボランティアと協力し、健診中の絵本紹介をさらに充実させる。 ・PR方法を幅広くする。 ・保健担当課と一層の連携をとり、継続実施する。 ・ボランティアの協力を得る。 ・事業は丸子で実施している。
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	136	家庭教育手帳・教育ノートの配布・活用	小学校1・5年生に配布し、公民館の青少年育成懇談会等で活用(文部科学省で作成配布)。	乳幼児、小学校1年生及び5年生	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・文部科学省HP上にデータが掲載されており、その利用が可能。 * 国における冊子形式での作成及び配布事業が終了した。	0	・市における配布は実施しない。 ・市HPにて家庭教育手帳の利用について紹介する。
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	137	子育てサポーター事業(子育て支援事業)	乳幼児期の子を持つ親の集う場所において、子育ての悩みや不安などの相談を受けたり、アドバイスをしながら、孤立しがちな子育てを支援するためのサポーター養成と、活動場所の提供を行なう。 ・子育てサポーターの養成 【平成21年度】 [平成26年度] 138名 200名	子育てに関心がある者	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・5/31～7/26にかけて、子育てサポーター養成講座を開催。 ・新サポーター28名(累計233名)養成。	316	・継続して実施する。
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	138	予防検診の実施	小学4年・中学1年生に血液検査による生活習慣病検診を実施。	小学4年生、中学1年生	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	(4地域) 【生活習慣病予防検診実施状況】 ・全校小学4年生:年1回、1,510人実施 ・全校中学1年生:年1回、1,501人実施	3,253	・過食、運動不足等による生活習慣病が、児童生徒にも広がっている現状を考慮し、引き続き生活習慣病検診を実施していく。あわせて生活指導を行っていく。
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	139	出前講座(命の学級)	出前講座として赤ちゃんと小中学生がふれあいの大切さを学ぶ。	6歳以上18歳未満	上田 丸子 真田 武石	市立産婦人科病院	・出前講座については、産婦人科病院の助産師が4回実施した。	0	・平成25年度は、実施方法、回数等を指定し、看護スタッフが担当をする。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	140	学校支援地域本部事業の推進	<p>学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整え、地域住民が学校の教育活動に関わることによって、地域の絆を深め、教育力の向上を図る。</p> <p>地域コーディネーターを中心として住民がボランティアとなって学校の支援活動を行うことによって、教員が子どもと向き合う時間の拡充を図る。</p> <p>地域協議会の設置。</p> <p>地域コーディネーターの設置</p> <p>学校支援ボランティアの活動</p> <p>*平成23年度から市の単独事業として実施。(平成20年から平成22年まで委託事業としての事務局として実施。)</p>	小中学生 地域住民	上田	生涯学習課 塩田公民館 学校教育課	<p>・地域の力を学校へそそぐ、しおだっ子応援団の活動は5年目に入り、活動に参加するボランティアの数も増え行事ボランティアの活動も活発となり、学校が変わってきたとの評価も高い。</p> <p>環境ボランティア…参加ボランティア数延べ189人、活動日数19日 (緑化委員会4年生と位置づけ、生徒の活動を支援)</p> <p>学習ボランティア…参加ボランティア数延べ279人、活動日数143日 (ほぼ毎日、教員OBのボランティアが要望のあるクラスに入り、学習を支援)</p> <p>行事ボランティア…参加ボランティア数延べ90人、</p>	58	<p>・学校を地域全体で支えるしくみを、他地域でも推進できるよう、引き続き、啓発・周知していくとともに、すでに動きのある学校や地域については、活動がスムーズに進むよう支援していく。</p>
					丸子				
					真田				
					武石				
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	141	コミュニティ・スクールへの支援	<p>保護者や地域住民が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することを通じて、地域に開かれた信頼される学校づくりを進める。</p>	小学生 地域住民	上田	学校教育課	<p>・浦里小学校を学校運営協議会の設置校に指定した。</p>	202	<p>・学校運営協議会に対し必要に応じて助言を行うとともに、委員に対して必要な研修等を行う。</p> <p>・保護者や地域住民等の意向を学校運営に反映させていく。</p>
					丸子				
					真田				
					武石				
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	142	学校サポーターバンク	<p>仕事や趣味などを通じて得た知識や技術、または古くから伝わる伝統芸能・技術を身につけた地域の方々に登録していただき、小中学校の求めに応じ授業、特別活動等の場でそれらを生かしていただく。</p>	小中学生	上田	学校教育課	<p>【登録者数】延べ250人(団体3)(4地域)</p> <p>【小学校】11校・343時間実施、44人のサポーターに依頼</p> <p>【中学校】2校・91時間実施、10人のサポーターに依頼</p>	30	<p>・学校等の協力を得ながら登録者確保を図るとともに、地域の活力を学校現場へ生かしていただく重要な取り組みの一つとして、学校現場で幅広く活用できる環境整備をしていく。</p> <p>・小学校、中学校ともに活用人数、実施時間が増加している。</p>
					丸子				
					真田				
					武石				
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	*計画策定後に新たに実施した事業	地域住民による学校支援事業	ボランティアによる読み聞かせを行い、児童の読書活動支援を実施		上田	城南公民館	<p>南小学校 既存のPTA読み聞かせサークルに地域住民の参加も募った読み聞かせボランティアが25年1月に発足し、主として月曜日の職員朝会時にボランティアによる読み聞かせを行い、児童の読書活動支援を実施</p>	0	継続実施
					丸子				
					真田				
					武石				
次代へつなく心豊かな自立した人づくり	143	通学合宿	<p>通学合宿の実施。(公民館に合宿して通学するという学校と公民館の共同生活の中で、寝食にかかわるすべてのことを仲間で行うとともに、新しい自分を発見する機会とする。)</p> <p>スプリングキャンプの実施。(食事のメニューづくりから食材購入、就寝まで子ども達だけで行う、生きる力養成キャンプ。)</p>	小学校高学年	上田	川西公民館	<p>(川西)</p> <p>・通学合宿 6月26日から3泊4日 22人</p>	69	<p>・実施予定 6月11日～14日 3泊4日</p>
					丸子				
					真田	真田公民館	<p>・通学合宿 8月27日から3泊4日 22人</p>	515	<p>・実施予定。 8月25日から3泊4日、20人</p>
					武石				

平成24年度新規事業

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度への 課題・取組			
次代へ つなく心 豊かな自 立した人づ くり	144	音楽交流会	保育園、小学校、中学校の児童生徒及び地域の音楽グループとの音楽発表を通じての交流を図る。	全市民	上田	上野が丘公民館 川西公民館	(上野が丘) ・七夕コンサート366人 ・稲倉の棚田星空コンサート120人 ・春休みおはなし広場115人 (川西) ・音楽交流会「ひびけ川西の空に」476人	上野が丘 102 川西 0	継続して実施する。			
							丸子					
							真田					
							武石					
次代へ つなく心 豊かな自 立した人づ くり	145	子ども会育成会の育成	全市的な事業として野外活動体験教室(川遊び、キャンプ事業等)を実施する。また、各育成会が実施する「休日活動体験事業」や「ふるさと発見事業」を支援する。	小中学生	上田	生涯学習課	・子ども会育成連絡協議会では、単位育成会への配分金交付等と併せ、共同事業の実施や体験活動支援事業補助金により、特色ある体験活動を広げる取り組みを行った。 加入育成会数・178 研修「体験活動が子どもを育てる」…参加者31名 外で遊ぶレクリエーション講習…参加者39名 ウグイの飼育・放流…参加者67名 里山での野外活動体験教室…参加者63名 体験活動支援事業補助金…29育成会	4,206	共同事業は、単位育成会が地域で事業を実施する際のモデルとなるようにする。 ・体験活動支援事業を充実させ、特色ある体験活動が各地域で実施されるように努める。			
							丸子					
							真田					
							武石					
次代へ つなく心 豊かな自 立した人づ くり	146	地域青少年育成指導者養成事業	子ども会育成会等の青少年団体が、地域で実施する青少年を対象とした様々な体験事業の指導者となりうる人材を養成する。	全市民	上田	生涯学習課	・NPO法人「やまぼうし自然学校」へ事業を委託して、地域青少年育成指導者養成講座を実施、全5回の講座を開催し延べ57人の参加者があった。 ・受講生のうち10名をリーダーズバンクに登録。今後、各育成会や学校からの要請を受けて、指導者の派遣を行う予定。	73	減少傾向である子どもたちの野外での体験活動等の機会を増加させるため、必要な施策を検討していく。			
							丸子					
							真田					
							武石					
次代へ つなく心 豊かな自 立した人づ くり	147	上田市レクリエーションサポートクラブ	市民の軽スポーツ・レクリエーション活動の振興を図るために学校、地域や職場の要請に応じて、適切なスポーツ指導者を紹介・派遣する。	全市民	上田	スポーツ推進課	・レクリエーションに特化して活動を行い、体を動かすことの楽しさを知ってもらう活動を展開しその一環として、育成会やPTA活動での軽スポーツや親子レクリエーションに指導者を派遣した。 指導員の資質向上のための研修会を開催した。	0	指導員確保のためのPR活動を充実させるとともに、指導員の資質向上と派遣制度の周知に努める。			
							丸子					
							真田					
							武石					
次代へ つなく心 豊かな自 立した人づ くり	148	スポーツ指導者の育成	スポーツ指導者を育成するための講習会を開催し、積極的に学校やPTAに働きかけていきます。	全市民	上田	丸子地域教育事務所	・丸子地域スポーツ推進委員の活動の中で対応 ・市全体としてスポーツ推進課でレクリエーションサポートクラブを組織して活動している	1,139	市全体の課題として、スポーツ推進課でレクリエーションサポートクラブ員の企画、育成、活動の充実			
							丸子					
							真田					
							武石			武石地域教育事務所	指導者の確保によりスポーツ教室等の充実が図れた	1,200
次代へ つなく心 豊かな自 立した人づ くり	*計画策定後に新たに実施した事業	スポーツ指導員の養成	地域のスポーツ活動推進のためのリーダーとして、スポーツ推進委員を委嘱し、市民のスポーツ振興を図る。	全市民	上田	スポーツ推進課	・55名のスポーツ推進委員を委嘱し、各地域でのスポーツ指導や市の主催するスポーツ行事でスタッフとして活動を行った。	6,006	スポーツ推進委員の資質向上のための研修会の充実とスポーツ推進委員会としての活動方針を明確にし、充実を図る。			
							丸子					
							真田					
							武石					

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度への 課題・取組
次代へ つなく心 豊かな自 立した人づ くり	149	情報モラル教育の推進	次世代を担う子ども達の情報活用能力や情報モラルの育成を図る。 ・情報社会に適応した情報教育 ・インターネットの安全教育	小中学生 教員	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	・夏休み中に、教職員を対象とした情報教育に関わる研修会を2日間で合計4回実施した。	0	・加速していく情報化社会の中で、子ども達が安全に情報機器を活用していけるよう、情報モラル教育を推進していく。
次代へ つなく心 豊かな自 立した人づ くり	150	スイッチ・オフ運動 (心の教育推進プラン)	テレビ、パソコン、ゲーム機、携帯電話等のスイッチを切って、家族や仲間との会話の機会や体験活動・読書の時間を増やす取組みを家庭・学校・地域社会で行う。	全市民	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・市内小中学校全校に保護者宛の啓発用リフレット「ネットやケータイの利用について」を配布。	114	・子どものメディア接触による影響と課題を理解し、家庭教育として取り組めるよう、地域での学習会開催、啓発チラシの配布などの啓発活動を行う。
次代へ つなく心 豊かな自 立した人づ くり	151	子どもに及ぼす有害となる 情報に対する対策の推進	講演会・学習会・出前講座の開催による知識の普及啓発 新たに有害自動販売機が設置されないように、「設置させない、利用しない、放置しない」の有害自動販売機3ない運動を推進するために、啓発チラシを全戸回覧する。	全市民	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・青少年育成自治会懇談会等でネットや携帯電話についての講演会を15回実施し延べ459人が参加。 ・有害図書等自動販売機を設置させてないための啓発運動として、「有害自動販売機NO運動」のチラシを11月に自治会回覧で実施。	15	・携帯電話、インターネット等のトラブル等を未然に防止するための知識を得られるように出前講座等の活用呼びかけ及び関係機関作成のチラシを配布し、啓発に努める。
次代へ つなく心 豊かな自 立した人づ くり	152	環境浄化活動	「青少年に有害な社会環境排除県民運動」の一環として、「有害環境の実態等を把握及び調査」、「関係業界の自主規制要望活動」、「有害自動販売機NO運動」等を実施、推進するために、少年補導委員を中心に環境チェック活動を実施する。(年3回) 地域住民等と協力しながら、地域内の環境実態を把握、環境浄化活動を地域ぐるみで展開する。 有害自動販売機の撤去に向け、地権者に再契約しないように要望したり、見回り等を継続的に実施する。	青少年	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・年3回の環境チェック活動に補導委員、自治会役員含め延べ631人が参加した。 ・店舗側に健全育成協力店指定や自主規制業界団体加盟の有無を確認し、協力店指定への協力、自主規制項目を守っていただくよう依頼した。新たに16店舗が協力店として加盟になった。 ・必要に応じ店舗側に改善の要望を依頼した(成人向け雑誌等の特別コーナーの設置、販売時の年齢確認等)	0	・新たに有害図書等自動販売機が設置されないように、「設置させない、利用しない、放置しない」の有害自動販売機3ない運動を継続して実施していく。 ・地区内の環境を巡回調査し、実態を把握する。
次代へ つなく心 豊かな自 立した人づ くり	153	街頭補導活動	少年補導委員を中心に毎月、地域の街頭補導活動(青少年への声かけ運動)等を実施する。(月1回)	青少年	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・少年補導委員会46班が毎月1回程度、計画的に地区内の巡回補導を行った。(延日数462日、延人数2,207人、補導少年数11人[25年1月末現在])	7,112	・青少年への声かけ運動を中心に街頭補導活動等を実施する。 ・「地域の子どもは地域で守り育てる」ために、一日補導活動等により地域の大人に地域の社会環境を知ってもらう機会を設ける。
次代へ つなく心 豊かな自 立した人づ くり	154	駅前パトロール	上田駅前お城口、温泉口のロータリーを中心として、暴走族メンバーやギャラリーを初期的段階から排除して暴走族をい集させないために、路上等にたむろする青少年への声かけと中心としたパトロールを行う。 暴走族等対策会議構成団体による駅周辺の安全パトロール ・毎週金、土曜日 19:30～20:30 実施。	青少年	上田 丸子 真田 武石	生活環境課	・4月～10月の間実施 30回延べ717人 祇園祭、わっしょいといずれも市職員等約60人、警察約90人動員でパトロール実施	0	・継続して実施する。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度への 課題・取組
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	155	市営住宅「優先入居枠制度」	母子・父子及び多子世帯を含む優先申込世帯が入居申込できる優先枠戸数を全体の35%に拡充し、一般の入居より抽選回数及び抽選倍率を有利に取り扱っている。	母子父子：最後の子どもが20歳未満 多子：18歳未満3人以上	上田 丸子 真田 武石	住宅課	・優先枠の利用により、募集戸数全体に占める母子・父子世帯の新規入居は全体の32%となっている。 <参考> H24年度(3月11日現在) 市営住宅母子世帯の入居状況 ・募集戸数:53戸 ・母子世帯申込戸数:33戸 ・母子世帯入居戸数:17戸	0	・優先枠比率を拡充しても、募集戸数が安定しなければ母子・父子世帯及び多子世帯の安定した住宅供給にはつながらない。入居修繕を円滑に行い少しでも多くの市営住宅の募集がかけられるよう努力していく。
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	156	シックハウス対策	公共建築物のシックハウス対策を進める。	全市民	上田 丸子 真田 武石	建築課	・法制化されており、整備が義務付けられている。	0	・法的に義務付けられているため、特別な取り組みは必要ない。
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	157	安心して遊べる身近な公園整備	児童遊園地などの公園を地域コミュニティ育成の場として、楽しみ・交流できる場となるよう活性化を図る。 ・市民1人あたりの公園面積、平成20年度末13.31㎡(市全域都市計画地域)を20㎡(平成30年)へ向けての公園整備を行う。 ・公園整備の推進[~平成26年度]3ヵ所増設予定。	全市民	上田 丸子 真田 武石	公園緑地課 建設課 建設課 建設課	・上田城跡公園バリアフリー化整備 東虎口~市民会館西側 L=60.3m ・上田城跡駐車場イベント広場舗装工 A=1,450㎡ ・都市公園施設長寿命化計画策定業務 4公園 ・【仮称】南天神町第2公園公園 クレイ舗装工 A=797㎡	35,847	・都市公園の整備を継続して進める。 ・都市公園施設の適期の更新と修繕維持を計画的に実施するために調査を実施。
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	158	遊具の修繕・リニューアル	老朽化した、あるいは危険性のある遊具から、安全で皆が楽しく使える遊具への転換。 ・安全で楽しめる遊具へのリニューアル。	全市民	上田 丸子 真田 武石	公園緑地課 建設課 建設課	・遊具修繕 25箇所 ・遊具新設 2基	遊具修繕 1,890 整備 1,260	・遊具点検等の充実。
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	159	花と緑のまちづくり推進事業	花苗の配布・花壇整備ボランティアの育成する。	全市民	上田 丸子 真田 武石	公園緑地課 建設課 建設課 教育事務所	・花苗の配布(地域ボランティアへ花壇整備のための) 春74,799本 秋60,860本 ・花壇コンクールの実施 参加 51団体、受賞 12団体 ・花苗の配布 春54,600本 秋9,030本 ・花苗の配布 春51,608本 秋2,040本 ・花苗の配布 春8,000本	花苗配布 3,094 花苗配布 2,391 花苗配布 2,381 900	・花苗配布の継続。
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	*計画策定後に新たに実施した事業	花の種銀行	花の種の貸し出しと講習会等の実施。	全市民	上田 丸子 真田 武石	公園緑地課	・会員数771人 内利用者数 159人(25.3.14現在 決算額も同) ・講習会開催3回	76	・花の種の貸し出し 口座開設目標 770名以上

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組	
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	160	バリアフリー化推進事業	公共建築物の整備に併せ、バリアフリー化を進める。	全市民	上田	建築課	施設の建設または、改修工事においてバリアフリー化を図っている。		0	今後、整備する施設では十分配慮している。
					丸子	丸子建設課				
					真田					
					武石	武石建設課				
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	161	赤ちゃんステーション	地域全体で安心して子育てができる環境を整えることを目的に、協力いただける商店、事業所や一部の公共施設などで、オムツ替えや授乳できるスペースを無料で提供する。	全市民	上田	子育て子育て支援課	69箇所(H24 新規登録10箇所)		0	赤ちゃんステーションの増加を図る。利用者の声をお聞きする。
					丸子					
					真田					
					武石					
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	162	子育て世帯にやさしいトイレ整備	公共施設の整備に併せ、子育て世帯の利用に配慮した器具等の設置及びスペース確保に努める。	全市民	上田	建築課	公共施設のトイレには、親子で利用できる施設を設けている。		0	今後、整備する施設では十分配慮している。
					丸子					
					真田					
					武石					
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	163	お気に入り公園の紹介	乳幼児期から屋外で身体を動かした遊びの拡大とお気に入り公園マップ作成。(500部) 【平成17年度～】お気に入り公園の紹介 広報、ホームページ等。	全市民	上田	子育て・子育て支援課 公園緑地課	公園お散歩マップをホームページ上に掲載 上田地域:21箇所 丸子地域:5箇所 真田地域:4箇所 武石地域:3箇所		0	継続して実施する。
					丸子					
					真田					
					武石					
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	164	園における交通安全教室	保育園や幼稚園において、警察や交通安全協会等の協力を得て、道路の歩き方や横断歩道の渡り方等の実践を交えて指導いただき、交通安全に対する意識の高揚を図る。	園児及び保育園・幼稚園職員	上田	保育課	交通安全教室 全園で実施		0	継続して実施する。
					丸子					
					真田					
					武石					
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	165	子どもに対する交通安全教育	子どもに対し、警察や交通安全教育支援団体と連携した交通安全教室を反復実施し、「自分の身は自分で守る」意識を醸成させる。毎年100回を目安として実施。 ・交通安全と歩行の基本習得。(幼児～) ・歩行安全と自転車の安全利用。(小学校～) ・自転車の安全利用。(中学生～) ・交通安全教室。	幼稚園・保育園児、小中学生	上田	生活環境課 保育課、保育園 学校教育課	子どもの交通安全教育活動を中心に活動している。「交通安全教育支援センター」、「長野県自動車店協会」等と協働して、幼稚園・保育園・小学校での交通安全教室を4月から11月までの間に、約100回実施した。(丸子:20回) *市内の全幼稚園、保育園、小・中学校を合算しても91対象しかなく、事実上現在の実施数が上限に近いため。	0	継続して実施する。	
					丸子	丸子地域教育事務 所 丸子市民生活課		0	継続して実施する。	
					真田	真田市民生活課		0	継続して実施する。	
					武石	武石市民生活課 武石地域教育事務 所		0	継続して実施する。	
					武石			0	継続して実施する。	

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度への 課題・取組
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	*計画策定後に新たに実施した事業	子どもに対する交通安全教育 (自治会単位による交通安全教室)	より細かい交通安全教育を推進するためモデル地域を指定し、自治会単位における児童・生徒に対する交通安全教室を実施する。 ・公民館・分館行事・育成会行事にあわせて地域での交通安全教室を開催する。	小中学生	上田	生活環境課	・子ども・児童が関係する交通事故が発生した地域において、警察や自治会と合同で街頭指導活動を実施した。また、子どもが集まる地域行事で交通安全を呼びかけてもらうよう、自治会役員等に協力依頼した。	0	・継続して実施する。
					丸子	丸子市民生活課		0	・継続して実施する。
					真田	真田市民生活課		0	・継続して実施する。
					武石	武石市民生活課		0	・継続して実施する。
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	166	保護者に対する交通安全教室	子どもを交通事故から守るため、幼稚園・保育園等を対象とした親子交通安全教室等、乳幼児の保護者が集まる機会において、保護者として自覚を持たせ高める啓発活動や、シートベルト・チャイルドシートの着用率向上に向けた講習を実施する。毎年50回を目安として実施する。 ・親子交通安全教室。	保育園児と小学生の保護者	上田	生活環境課 保育課、保育園	・小学校・保育園で行った交通安全教室のうち、約33回に保護者の参加を求め、保護者の交通安全意識向上を図った。 (丸子:9回)	0	・継続して実施する。
					丸子	丸子地域教育事務所 丸子市民生活課		0	・継続して実施する。
					真田	真田市民生活課		0	・継続して実施する。
					武石	武石市民生活課 武石地域教育事務所		0	・継続して実施する。
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	167	高齢者に対する交通安全教室	孫世代にあたる子どもを交通事故から守るため、出前講座等における高齢者交通安全教室の機会において自身の交通安全のほかに地域居住の子どもたちへの交通安全指導の啓発や、シートベルト・チャイルドシートの着用率向上に向けた講習を実施する。 ・高齢者交通安全出前講座。 [平成21年度]年間5回 [平成25年度]15回以上	高齢者	上田	生活環境課	・3回実施した高齢者向け出前講座の際には、自らの交通安全のみならず、地域の子どもの交通安全指導への協力を求めた。	0	・継続して実施する。
					丸子	丸子市民生活課		0	・継続して実施する。
					真田	真田市民生活課		0	・継続して実施する。
					武石	武石市民生活課		0	・継続して実施する。
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	*計画策定後に新たに実施した事業	交通安全対策専門担当の設置	交通安全施策の推進のため、体制整備時において警察官による交通安全対策専門担当を設置し、交通事故防止対策を推進。	全市民	上田	生活環境課	・生活環境課に県警からの出向警察官を配置し、交通指導員等への指導を通じて業務改善とレベルアップを図り、交通事故防止対策を推進した。	0	・継続して実施する。
					丸子			0	・継続して実施する。
					真田			0	・継続して実施する。
					武石			0	・継続して実施する。
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	168	自主防犯体制の整備 (犯研修会等の実施)	防犯指導院を中心とした、効果的な防犯パトロールの推進を図る。 ・自主防犯意識に基づく体制の整備。 ・防犯ベスト等の配布。 ・地区単位の防犯協議会の設立支援。 ・自主防犯ボランティアの活動支援。	全市民	上田	生活環境課	・6月27日、防犯指導員研修会を開催するとともに、防犯協会会員を対象とした自治会単位等の研修会を年間7回実施した。また、千本桜まつり実施期間中の防犯パトロールをはじめ、自治会内の防犯パトロール及び青パトによる通学路パトロールを通年実施して、犯罪抑止に努めた。	0	・継続して実施する。
					丸子	丸子地域教育事務所 丸子市民生活課	・防犯指導員研修会に参加。	0	・継続して実施する。
					真田	真田市民生活課	・防犯指導員研修会に参加。	0	・継続して実施する。
					武石	武石市民生活課	・防犯指導員研修会に参加。	0	・継続して実施する。
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	169	自主防犯意識の醸成 (防犯意識の高揚・啓発活動)	地域住民自らが地域を守る、安全で安心な地域づくりを推進する。 ・広報啓発活動の推進。 ・防犯研修会、出前講座の開催。	全市民	上田	生活環境課	・出前講座を年間10回開催した。 年間4回の防犯広報紙を発行するとともに、有線放送などを通じて広報・啓発に努め、防犯意識の高揚を図った。	0	・継続して実施する。
					丸子	丸子市民生活課 住宅課	・依田窪防犯協会連合会と連携し、防犯女性部による保育園や高齢者の会合等での紙芝居を上演。地域安全ニュース「よだくぼ」を毎月配布。	0	・継続して実施する。
					真田	真田市民生活課			
					武石	武石市民生活課	・地域安全ニュース「よだくぼ」を毎月配布	0	・継続して実施する。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度への 課題・取組	
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	170	通学路安全点検ヒヤリマップの作成	各小学校、自治会単位による通学路の安全点検を実施し、危険箇所の確認、改善に向けた対策を講じていく。小学校8校で交通安全マップを作成して保護者へも周知しているが、関係者が参加して、現地を実際に確認することも実施したい。また、マップ未作成の学校は、作成の推進をしたい。 ・小学校による通学路点検の安全点検を実施し、危険箇所の確認とマップ作成により、児童に対する危険箇所の周知と意識の高揚を図り、交通事故及び犯罪の防止を図る。	小学生	上田	学校教育課 生活環境課	・市内全小中学校で、通学路の安全点検を実施。 ・市内の小学校全25校において安全マップを作成しており、周知徹底させ交通事故防止に活用している。	0	・作成した安全マップの見直しを随時行ない、危険箇所等を保護者に周知するとともに改善を行う。	
					丸子					
					真田					
					武石					
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	171	園の安全管理対策	保育園や幼稚園において、各種訓練やCAPプログラムを実施するとともに、地域住民との連携を進めることにより、防犯体制の充実を図る。 ・教職員、保育士を始めとした関係者の防犯訓練の強化 ・園児自身の防犯意識の高揚・防犯訓練の強化 ・地域・近所との協力・連携による防犯体制の強化 ・保護者の防犯意識の高揚の推進 ・各園に防犯スプレー等の配置	園児及び保育園・幼稚園職員	上田	保育課	・防犯訓練、避難訓練等を公立全園で実施 CAPワークショップ 2園	142	継続	
					丸子					
					真田					
					武石					
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	172	学校の安全管理対策	警察署などの協力により不審者対応講習会を開催したり、各学校において防犯対応の手順や各教員の役割、関係機関との連絡体制等を定めた「学校安全マニュアル」の全校策定をすすめる。学区内・登下校時は、地域と連携した取組を実施して子どもの安全確保を目指す。 ・教職員、保育士を始めとした関係者の防犯訓練の強化 ・園児・児童・生徒自身の防犯意識の高揚・防犯訓練の強化。 ・地域・近所との協力・連携による防犯体制の強化。 ・保護者の防犯意識の高揚の推進。	小中学生及び教職員	上田	学校教育課	(4地域) ・市内25小学校区のうち22小学校区に「見守り隊」が結成され、他の3小学校区でもPTA等地域の協力により見守り活動を行っていただいた。 ・市から委嘱された交通指導員に、小学校周辺の交通安全誘導を行っていただいた。 ・緊急時等の避難場所として、市内約1,130件に「子どもを守る安全の家」として協力いただいた。 ・スクールサポーターや防犯協会による学校周辺の巡視を定期的実施していただいた。必要に応じて教職員もパトロールを行った。 ・市職員が、青色回転灯パトロール車による下校時のパトロールを、原則、毎日行っている。	57	・市内においても児童・生徒の登下校時の不審者による「つきまとい」や「声かけ」事案等が多発していることから、現在行っている「見守り隊」、「子どもを守る安心の家」、「青色回転灯パトロール」等の活動を強化し、学校、保護者、地域とが一体となって、児童生徒の安全確保のための活動を充実させていく。	
					丸子					
					真田					
					武石					
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	173	子ども見守り活動の充実(街頭における交通指導活動)	通学路の主要箇所に交通指導員を配置し、子どもの交通事故防止に向けたドライバーの安全意識の啓発と、子どもに対する安全教育活動を実施する。 ・上田市交通指導員会、上田交通安全協会、依田窪交通安全協会の協力を得て、街頭指導活動の推進。	小中学生	上田	生活環境課	・上田地域交通指導員、依田窪交通安全協会の協力のもと、地元小学校の学路における交通指導を実施した。	0	・継続して実施する。	
					丸子					丸子市民生活課
					真田					真田市民生活課
					武石					武石市民生活課
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	173	子ども見守り活動の充実(被害弱者に対する保護活動)	PTAや地域住民、学校、警察、防犯協会等が連携し、「学校周辺のパトロール活動」を実施するなど被害弱者への保護防犯活動を行う。	小中学生	上田	生活環境課 学校教育課	・市役所安全パトロール隊による通学路パトロールを通年実施して、下校時間帯の通学路及び学校周辺における安全を確保した。	0	・継続して実施する。	
					丸子					丸子市民生活課
					真田					真田市民生活課
					武石					武石市民生活課
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	173	子ども見守り活動の充実(子どもを守る「安心の家」の充実)	いざという時に活用される「安心の家」の充実 ・「安心の家」の人と児童、生徒との顔合わせ、交流を行う等 ・ガソリンスタンド、郵便局の地域担当の方との顔合わせの機会を作る ・保護者や地域における「安心の家」に対する意識の高揚。	小中学生	上田	生活環境課 学校教育課 保育課	・上田市防犯協会、上小防犯協会連合会と連携して、安心の家ののぼり旗の購入を支援した。	0	・継続して実施する。	
					丸子					
					真田					
					武石					

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度への 課題・取組
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	173	子ども見守り活動の充実(青色回転灯パトロールカーの導入)	平日午後3時から5時まで子どもたちの安全確保のため、市内全域をパトロール。 ・防犯のための安全パトロールの強化。 ・交通安全パトロールの推進。	全市民	上田	生活環境課	・市役所安全パトロール隊による青色防犯パトロールを通年実施した。	0	継続して実施する。
					丸子	丸子市民生活課	・担当職員による青色防犯パトロールを通年実施した。	0	
					真田	真田市民生活課	・市担当職員による青色防犯パトロールを実施した。	0	
					武石	武石市民生活課	・市担当職員による青色防犯パトロールを実施した。	0	
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	174	学校における防犯訓練	警察署等の協力を得て、不審者等の侵入を想定した学校関係者全体の防犯訓練を数校で実施しているが、今後は全小中学校での取組みを目指す。	小中学生	上田	学校教育課	・(4地域)市内全小中学校で、防犯訓練や自分の身は自分で守るための防犯教育を実施している。	0	警察や防犯協会等の協力により、不審者等の侵入を想定した学校関係者全体の防犯訓練を全校で実施していくよう指導していく。
					丸子				
					真田				
					武石				
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	175	市道の整備・維持・管理(コロベタ大作戦)	区画線・ガードレール・カーブミラー設置等安全対策及び市道の整備、除雪等を含む市道の維持管理の実施 ・信号機の設置・横断歩道の設置・歩道の整備・街路灯の設置。	全市民	上田	土木課 管理課	・歩道設置 L = 736m ・除融雪 L = 232km ・街路灯設置 N=7基	170,554	・歩道設置路線の事業推進を図る 黒坪長島線 小島手塚線 踏入大屋線
					丸子	丸子建設課	・除融雪 L=97.2km ・フェンス・ガードレール等L=269.7m	35,449	・歩道設置路線(中丸子22号線)の事業推進を図る。 ・交通安全施設の整備推進を図る。 ・除融雪の実施。
					真田	真田建設課 真田市民生活課	・道路改良(歩道設置 L = 287m) ・除融雪 L=71km	64,148	・歩道設置路線の事業推進を図る 燕線 原野地2号線 ・区画線・ガードレール・カーブミラー設置等安全対策の推進を図る
					武石	武石建設課	・歩道除雪 L = 5.1km ・安心して歩ける歩道空間(カラー舗装) L = 910m	2,296	・園児・児童・生徒の安全確保を重視した維持管理に努める。
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	176	非常通報装置の整備(保育所、幼稚園)	非常通報装置の保守管理を行い、万が一の非常事態に備える。 緊急時に押しボタンで警察に繋がる通報装置の保守管理 ・非常通報装置の整備・非常用内線電話の整備の推進 ・園児・児童・生徒自身の防犯意識の高揚・防犯訓練の強化	保育園及び幼稚園職員	上田	保育課	公立保育園15園 公立幼稚園2園	536	継続
					丸子				
					真田				
					武石				
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	177	非常用内線電話の整備	緊急時に校内への指示連絡を迅速に行うための内線電話を主な教室に設置。 ・非常通報装置の整備・非常用内線電話の整備の推進。	小中学校、児童・生徒	上田	教育総務課	設置なし	0	学校からの要望等に応じて、設置について検討する。
					丸子				
					真田				
					武石				
子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	178	防犯灯の整備支援	犯罪の発生を防ぐまちづくりを推進するため、自治会で設置管理する防犯灯の新設及び電気料金の補助を実施する。	全市民	上田	生活環境課	・年間191基の防犯灯整備補助を実施した。	5,703	継続して実施する。
					丸子	丸子市民生活課	・年間27基の防犯灯整備補助を実施した。	995	継続して実施する。
					真田	真田市民生活課	・年間17基の防犯灯整備補助を実施した。	542	継続して実施する。
					武石	武石市民生活課	・年間2基の防犯灯整備補助を実施した。	26	継続して実施する。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	179	ワーク・ライフ・バランスの推進 (労働者への働きかけ)	市内の企業で働く父親の育児参加の必要性の啓発、及び育児休業や労働時間短縮措置をとることの啓発活動。	労働者	上田	雇用促進室	・リーフレット等で広報	0	ワーク・ライフ・バランスの推進により、雇用主への父親の育児参加の必要性の啓発
					丸子	丸子産業観光課	・リーフレット等で広報	0	
					真田	真田産業観光課	・リーフレット等で広報	0	
					武石	武石産業観光課	・リーフレット等で広報	0	
職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	180	企業等への訪問講座 (地域・事業所内における「父親のための育児教室」の開催) * NO37の関連事業	父親の子育て参加を促進するため、地域や事業所へ出向いて父親のための育児講座の開催(年5回) 子育て家族応援事業実行委員会が父親向けの「ステキなパパになりたい人のための講座」を開催。	労働者	上田		・ステキなパパになりたい人のための講座 5回 210人 ・企業向け出前講座 1回(シナノケンシ) 94人	0	継続して実施する。
					丸子	子育て・子育て支援課			
					真田				
					武石				
職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	181	ワーク・ライフ・バランスの推進 (事業主への働きかけ)	市内の企業等の事業主へ、従業員が育児と仕事が両立できるような制度整備や措置を行なうことへの啓発活動。	事業主	上田	雇用促進室	・リーフレット等で広報	0	ワーク・ライフ・バランスの推進により、雇用主への父親の育児参加の必要性の啓発
					丸子	丸子産業観光課			
					真田	真田産業観光課			
					武石	武石産業観光課			
職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	182	「社員の子育て応援宣言！」への登録の推進	企業・事業所のトップの方から、従業員が仕事と子育ての両立ができるような、「働きやすい職場環境づくり」の取組を宣言してもらう制度。 * 長野県事業	事業主	上田		・29社登録(市内41社)	0	事業主よりの登録相談があった際に随時対応する
					丸子	子育て子育て支援課			
					真田				
					武石				
職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	183	男女共同参画啓発事業	家庭における男女の性別役割分担意識を解消するため、啓発活動や、学習機会を提供することにより男女共同参画を促進する。 ・さんかく講座 ・さんかくセミナー ・市民フェスティバル、	全市民	上田	人権男女共同参画課	・出前講座3講座(企業1+団体2) 117名参加 講座3講座 96名参加 講演会3回開催 352名参加 市民フェスティバル開催。241名	342	・第2次上田市男女共同参画計画に基づき、内容を検討。 ・映画会は毎回好評のため継続して上映を実施予定 伝統あるフォーラムの開催で継続実施予定
					丸子	丸子市民生活課	・映画会1回開催 521名参加 ・シルキーフォーラム1回開催 82名参加 ・男女共同参画講座 61名参加	470	
					真田	真田市民生活課	・男女共同参画講演会 25名参加	8	
					武石	武石市民生活課	・男女共同参画講座1回開催 22名参加	8	
職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	184	男女共同参画推進事業者表彰	男女共同参画の推進に関する取組を積極的に行なっている個人・法人・各種団体に対し表彰する。	全市民	上田		・事業者表彰2法人+4自治会表彰	0	表彰された先進事例を市民に紹介することに力を入れていく。
					丸子	人権男女共同参画課			
					真田				
					武石				

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	185	仕事の探し方講座	就職活動についてのノウハウ取得講座を開催。	中学生・高校生	上田 丸子 真田 武石	雇用促進室	高校出前講座 ・さくら国際高校2回、上田千曲高校1回、 参加人数244人 大学生等の就職支援講座 ・2回 参加人数31人	0	・継続して実施する。
職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	186	能力開発のための講座	男女協働参画の視点を持って、社会の幅広い分野に参画する女性の能力・技術向上(エンパワメント)を目的とした講座や研修会を開催(年1回)エンパワメント講座(能力開発)の充実。	全市民	上田 丸子 真田 武石	人権男女共同参画課	・資格取得講座 2講座 延726名参加 ・再就職支援講座 1講座 延52名参加	339	・市民ニーズや第2次上田市男女共同参画計画に基づいて実施予定。
職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	187	資格取得のための講座	再就職支援講座を開催し、子育てや介護によりいったん仕事を退職しても、再び就業できるよう学習の機会を充実する。	全市民	上田 丸子 真田 武石	人権男女共同参画課	・日商簿記資格取得準備講座 全22回 650名参加 ・アロマテラピー2級検定取得講座 全4回 76名参加 ・ファイナンシャル・プランニング技能士3級 全10回 200名参加 ・仕事をゲット! パソコン技と起業家の術 前5回 52名参加	449	・市民ニーズや第2次上田市男女共同参画計画に基づいて実施予定。
職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	188	子育て支援資金	長野県の「社員の子育て応援宣言!」に登録された事業者又は「ながの子ども・子育て応援県民会議」が行う「ながの子育て家庭優待パスポート事業」に協賛いただいている事業者に対して運転資金等を融資する。	事業者	上田 丸子 真田 武石	商工課	・融資件数 0件	融資金額 0千円	・事業の性質上、件数・金額の実績により評価するのは難しいが、子育てに力を入れる企業の資金ニーズに対し、有利に資金調達ができるよう支援を行う事が目的であるため、内容の見直しを検討する。
職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	*計画策定後に新たに実施した事業	女性の再就職の場の拡大	ハローワークと協働し、支援のためのセミナーの開催及び情報の提供。	全市民	上田 丸子 真田 武石	情報ライブラリー	・平成23年度までハローワークと協働で再就職支援セミナー及び仕事の探し方講座を実施していたが、ハローワークの予算削減により24年度はセミナーを実施できなかった。 ・ジョブカフェ信州と協働で再就職支援相談事業を1回開催した。 ・情報提供については、図書館内に仕事・資格の応援コーナーを設置し、関係図書やパンフを配置すると共に、ハローワークの求人情報や民間企業発行の求人情報誌、ジョブカフェ信州のチラシ等を配置するなどして女性の再就職支援を行っている。	0	・ハローワークの予算削減と、長野県上田緊急求職者サポートセンターが廃止されたことによりセミナーの開催は困難と思われる。 ・情報提供は継続して実施する。
職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	189	インターシップ事業	高校・大学生等の職場体験事業実施。	高校・大学生	上田 丸子 真田 武石	雇用促進室	・高校生87人 大学生等24人 合計111名	(上田職業安定協会への負担金) 557	・継続して実施する。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度への 課題・取組
職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	190	就職相談	駅前ビル内パレオ職業相談室に相談員1名を配置し相談。	15歳から34歳まで	上田	雇用促進室			
					丸子				
					真田				
					武石				
事業終了									
職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	191	キャリアアップ講座	平成17年度に開催した「女性のキャリアアップ支援セミナー」に参加したメンバー、情報ライブラリーと協働で女性の起業や仕事に活かす講座を開催。(年1回)	全市民	上田	情報ライブラリー	女性のキャリアアップ支援セミナーを11月14日に実施、44人参加【平成24年度】1回	8	継続して実施する。
					丸子				
					真田				
					武石				
職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	192	事業所見学	上田職業安定協会・ハローワーク等と連携して高校生の事業所見学を実施。	高校生	上田	雇用促進室	上田高校ほか14校、参加生徒248人	(上田職業安定協会への補助金を含む) 97	継続して実施する。
					丸子				
					真田				
					武石				
職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	193	就職面接会の実施	高校、大学等卒業者及び既卒3年以内の者を対象に、上田地域企業との就職面接会を開催。	就職予定学生、既卒3年以内の学卒者	上田	雇用促進室	就職面接会・ガイダンス 4回開催 ・学卒者等 948人、参加事業所211社	(上田職業安定協会への負担金を含む) 1,080	就職面接会・ガイダンス計4回開催予定
					丸子				
					真田				
					武石				
職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	194	就職に関する情報の提供	学卒者向け企業紹介冊子の作成、配布。ハローワーク求人情報の掲示。	就職予定学生、既卒3年以内の学卒者	上田	雇用促進室	企業ガイドUEDA 4,000冊作成、配布	(上田職業安定協会への補助金を含む) 1,477	企業ガイドUEDA 作成予定4,000冊
					丸子				
					真田				
					武石				
職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	195	就職・職業に悩む若者の保護者対象個別相談会	就職する気持ちなかったり、就職する気持ちはあるもののなかなか就職にいたらない子どもをお持ちの保護者対象相談会を開催。	概ね35歳まで	上田	雇用促進室	相談者50人	360	継続して実施する。
					丸子				
					真田				
					武石				

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度への 課題・取組
職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	196	若者サポートステーションにおける臨床心理士にカウンセリング委託	就労支援を受けに若者サポートステーション・シナリにくる若者のうち、障害等を抱えていると見られる者を対象に、臨床心理士によるカウンセリングを実施。	概ね35歳まで	上田 丸子 真田 武石	雇用促進室	・相談者72人	360	・継続して実施する。
職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	197	地域における若者支援のための体制整備モデル事業	内閣府が全国14地区で実施する「地域における若者支援のための体制整備モデル事業」を実施する。 ・地域企画委員会の開催。(年3回) ・ユースアドバイザー定例会議及び講習会の開催。 ・青少年に社会的自立の遅れに対する立ち直りの支援の充実強化と関係機関のネットワークを通じた支援対象者への適切な自立支援を行うための体制の整備を図る。	乳幼児期から30代まで	上田 丸子 真田 武石	雇用促進室			
		事業終了							
職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	*計画策定後に新たに実施した事業	若者就職意識啓発事業	就職活動をしてなかなか就職に結びつかない若者や、学卒で就職しても長続きしない若者が増えていることから、フォーラム、セミナーにより、仕事をすることにあたっての意識啓発を促す。 ・学生を対象に、就職への意識啓発を目的とした就職支援フォーラムを開催。 ・ニート・フリーターを対象に、就職への意識啓発、就職活動についてのノウハウ取得講座を開催。	概ね大学生から30代まで	上田 丸子 真田 武石	雇用促進室	・就職支援フォーラム 基調講演参加60人、事業所見学会参加49人 ・若年者就職支援セミナー 開催9回、参加125人	(就職支援フォーラム) 300	・就職支援フォーラムを上田地域産業展に併せ開催予定。 ・若年者就職支援セミナー 9回
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	198	要保護児童対策地域協議会	児童福祉法の一部改正が行われ、「要保護児童対策地域協議会」の平成19年度設置に向けて協議。 ・上田市虐待防止ネットワークの設立。【平成17年度】 ・事例研究・研究会等関係者の資質の向上。【平成24年度】学習会・研究会の開催3回/年 ・市民への虐待についての知識の普及・啓発。【新規】【平成24年度】講演会の開催1回/年 ・地域の体制整備。	職員等	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課 丸子健康福祉課 丸子地域教育事務所 真田健康福祉課 真田地域教育事務所 武石健康福祉課 武石地域教育事務所	・要保護児童対策地域協議会代表者会議委員22名 代表者会議2回開催 実務者会議2回開催 個別支援会議随時開催 ・児童虐待防止の取組 児童虐待防止講演会の開催(H24.11.16) ハイリスク家庭の把握(こんにちは・赤ちゃん訪問事業の実施) ・地域子育て支援である広場事業の充実 ・子育て短期支援事業の実施 ・要保護児童夜間支援事業の実施	46	・要保護児童対策地域協議会の構成機関との連携、要保護児童の早期発見、適切な保護。 ・要保護児童夜間支援事業の実施。 ・養育に欠ける児童の保護を目的とし、夜間、休日に家庭での養育が困難となった場合、実施施設において保護し生活指導、食事の提供を行い、要保護家庭の立ち直りを支援する。
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	199	児童虐待防止講演会	市民への虐待についての知識の普及・啓発。【平成23年度】講演会の開催1回/年 ・地域の体制整備。	全市民	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・虐待防止講演会の開催(H24.11.16) 130名参加		・継続して実施する。
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	200	家庭児童相談事業	児童相談、児童虐待通告、児童のさまざまな問題に対する相談・指導。 家庭児童相談員等を始めとする相談員及び保育園・幼稚園・学校等、日頃乳幼児及び児童生徒に接する時間の多い職関係機関職員、虐待に対する知識や対応方法についての研修会の開催。	18歳未満の児童を養育している家庭等	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・家庭児童相談 延410件 ・虐待予防後援会の開催	0	・要保護児童対策地域協議会の構成機関と連携を図りながら、相談体制の充実や個別ケースの対応内容の把握、情報共有。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組	
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	201	要保護児童夜間支援 *夜間型一時保育(トワイライトステイ)	夜間、土日、養育にかける児童を実施施設に保護し生活指導、食事の提供等。	概ね2歳から小学校6年生まで	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・延べ1人 13時間	11	・仕事と子育ての両立を目的に夜間一時保育を実施。	
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	202	CAPプログラムの推進	子ども自身がさまざまな暴力から自分を守る力を持っていることに気づき、その力を発揮できるようにサポートすることを目的としたプログラムを実施する。	保育園児、小中学生	上田 丸子 真田 武石	学校教育課 保育課	・市内の小学校1校、中学校2校において、CAPプログラムを実施した。	180	・継続して実施する。	
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	203	ひとり親家庭相談事業	ひとり親家庭・寡婦の生活相談及び自立に必要な助言・指導、女性相談、DV相談及び対応。	母子 寡婦 父子家庭	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・女性相談 延161件 ・母子・父子・寡婦家庭相談 延568件 ・DV相談 38件	4,001	・ひとり親家庭・寡婦等の自立支援に向け案内や相談の実施。相談者の現状の把握と適切なアドバイス。	
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	204	母子・父子家庭自立支援・就業支援事業	能力開発のために受講した教育訓練講座受講料に対する補助。 ひとり親家庭(母子家庭)に対する就業支援。(自立支援教育訓練給付金支給事業、高等技能訓練促進事業等) 母子家庭等の資格取得に関する助成金の支給。	母子 寡婦 父子家庭	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・母子家庭自立支援給付金 ヘルパー2級 3名、55千円 医療事務 1名、19千円 介護技術講習会 1名、12千円 ・高等技能訓練促進事業 看護師8名 准看護師4名 保育士 1名 言語聴覚士 1名 18,342千円	18,428	・母子家庭の自立のため安定した就労に向けた支援の実施。 ・事業の存続が不透明となっている。	
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	205	母子家庭高等技能訓練促進費事業	N0204「母子・父子家庭自立支援・就業支援事業」において実施			上田 丸子 真田 武石				
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	206	母子寡婦福祉資金貸付	修学、就業、生活等に要する費用の貸付の申請・審査を実施。 *長野県事業 貸付は県が実施(県費負担)。	母子家庭等の母と子	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・母子寡婦福祉資金貸付申請件数20件		・母子寡婦福祉資金償還金の滞納者の増加を防ぐため貸付申請の際の適切な貸付審査と指導の実施。	

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	207	母子福祉団体への補助	ひとり親家庭の交流事業などを行う。母子家庭(寡婦)の方々自身の団体(上田市母子寡婦福祉会)への補助。	母子福祉団体	真田	真田健康福祉課	・上田市母子寡婦会真田支部への補助金交付 ・会員27名(事務局:社協真田地区センター) ・母(父)と子のつどい事業(募集したが少人数のため中止) ・母子セミナー参加他	0	・会員を増やし会の充実を図る。(「みんなの生活展」リマーケット等を通じて) ・母(父)子家庭の把握をし情報交換・交流の場を設ける。
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	208	ひとり親家庭等日常生活支援事業	一時的に生活援助が必要な場合、あるいは母子・父子家庭になって間もないため日常生活に支障がある場合に家庭生活支援員を派遣。 ひとり親家庭が育児に困らないための支援 母子家庭等日常生活支援事業、子育て短期支援事業。	母子寡婦父子家庭	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・日常生活支援員派遣家庭 4件 延時間34時間	53	・ネグレクト家庭への派遣など、児童虐待防止の観点から事業展開を検討する。派遣ヘルパーの確保が難しくなっている。
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	209	ひとり親家庭の交流	ひとり親家庭の交流(父・母と子のつどい事業、ひとり親家庭親子教室)	ひとり親家庭	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	(父・母と子の集い事業) ・参加者数224名(大人90名 子ども134名) 行先 東京デイズニールランド (ひとり親親子教室) ・参加者数 49名(大人22名 子ども27名(延べ)) 実施内容 親子ヨガ、笑いヨガ、親子でリズムあそび	858	・ひとり親家庭の親子の交流、リフレッシュを目的として実施。
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	210	発達相談センターの充実	発達障害等で支援を必要とする子どもの成長段階に合わせて、保健・教育・福祉・医療等の関係者の連携による支援を一貫して行うことにより、発達障害の早期発見、保護者への早期支援、関係機関との連携強化など支援策の充実を図り、すべての子どもがその子らしく健やかに成長でき、学びと育ちが保障できるよう総合的に支援する。	0歳から18歳まで	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	専門職員による発達相談 相談者数 1,073人 ペアレントトレーニング開催 23人 発達講演会開催(参加者168名)	3,450	・庁内の関係機関はもとより、幼稚園・学校などの関係機関との連携の充実を図る。
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	211	巡回児童相談	療育手帳の判定。 障害児特別保育事業の判定。 加配保育士の要否の判定。 児童発達支援の判定。	18歳未満の児童とその保護者他	上田 丸子 真田 武石	福祉課 丸子健康福祉課 真田健康福祉課 武石健康福祉課	・26回 延201人	0	・相談件数が増加する年度末(12月～3月)及び特別児童扶養手当再認定時期(7,11,3月)に巡回相談の回数を増やすことを検討。
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	212	障害児発達相談事業	相談を通じて保護者の気づきを促し、障害児等を早期に発見・フォローすることで正しい関わりを実現し、適切な保育、就学等に向けた子育て支援の充実を図る。 ・専門機関家による保護者の相談。	保育所に入所している児童の保護者	上田 丸子 真田 武石	保育課	・専門機関による月3回の定期的発達相談:36回・110人(発達検査も含む) ・不定期の発達相談:12回・30人	歳出(委託料) 378	・定期的相談枠を12枠増やしたことで相談希望に対応できた。それでも不定期枠の対応が必要だった。子どもの相談に加え、母自身の子育て不安の相談件数が増えている。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度への 課題・取組
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	213	障害担当保育士の配置	障害児担当保育士を専任とし、相談・指導関係機関とのコーディネート他、障害児保育施策を推進する。 ・保育園における発達支援の体制の充実。	発達が遅やかな子ども	上田 丸子 真田 武石	保育課	・保育課に課付保育士3名を配置。 (H23から保育士1人を増員)		・保育士3人体制での支援の充実に図る。
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	214	障害児特別保育事業	障害児保育のため、保育士の増配置。 障害児保育を実施するための施設設備の改善。 障害児保育のための遊具保育材料の購入。	発達が遅やかな子ども	上田 丸子 真田 武石	保育課	・公立33園で127人、私立9園で20人の児童を受入。 保育士の増配置は、公立63人、私立12人。保育園への貸し出し玩具を補充(10個)	歳出 (私立8園へ補助) 9,006	・保育士全体の人数が不足の中、加配保育士の配置が課題。
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	215	就学前指導	就学に向け学校、教育委員会との連携及び保護者の相談に応じる。	未就学児 (公・私立 保育園年長 児及びその 保護者)	上田 丸子 真田 武石	保育課 学校教育課	・保護者の希望及び園からの依頼により相談を実施。 ・H24年度137回実施。	0	・継続して実施する。 ・公立幼稚園と依頼があれば私立幼稚園も実施。 ・必要に応じて移行支援会議を開催し、スムーズな移行をする。
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	216	OT相談(のびのび相談)	作業療法士による乳幼児の発達に関する個別相談・指導。	0歳から就学前の子どもとその親	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課			
N0210「発達相談センターの充実」において実施									
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	217	発達に関する専門職による相談	子どもの発達や育児についての専門職種による相談	0歳から就学前の子どもとその保護者	上田 丸子 真田 武石	健康推進課 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係)	・育児相談((心理発達相談員による定期相談事業) 相談者数 延16人 ・心理発達相談(心理発達相談員による健診時相談事業) 相談者 延183人 ・発達相談(理学療法士による相談) 相談者 延145人 ・ことばの相談 延197人	1,917	・対象児童の増加への対応。
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	218	発達支援教室	発達支援が必要な親子のフォローと適正療育に関する支援	概ね1歳6ヶ月から3歳までの子どもとその親	上田 丸子 真田 武石	健康推進課 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係)	・上田会場 44回 実人数21人 ・丸子会場 24回 実人数17人	1,480	・継続

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成24年度実施状況	平成24年度決算額(千円)	平成25年度への課題・取組
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	219	ことばの相談	言語聴覚士による、ことばの個別相談・訓練。	概ね2歳から就学前の子どもとその保護者	上田	健康推進課	/	/	/
					丸子	健康福祉課(健康推進係)			
					真田	健康福祉課(健康推進係)			
					武石	健康福祉課(健康推進係)			
NO217「発達に関する専門職による相談」において実施									
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	220	障害児通園施設巡回相談(心身障害児施設巡回指導)	歯科衛生士による通園施設での歯科相談。	障害児通園施設通園者	上田	健康推進課	・施設を巡回指導 12回 指導人数163人 ・歯科医師による訪問相談 1人 ・歯科衛生士による訪問指導 3人	487	継続
					丸子	健康福祉課(健康推進係)			
					真田	健康福祉課(健康推進係)			
					武石	健康福祉課(健康推進係)			
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	221	発達障害に対する理解の普及啓発	教職員や保育士等が、障害に対する正しい知識と理解を持つために、研修の充実を図っていきます。	保育士、教職員	上田	学校教育課 保育課	・特別支援教育支援員の連絡会を開催し、情報の共有を図った。 ・小中学校の特別支援教育コーディネーター連絡会で、情報交換や事例研究を行った。	0	一人ひとりのニーズに対応するため、研修の機会と情報交換の場を提供する。
					丸子	丸子学地地域教育事務所 保育課			
					真田				
					武石	武石地域教育事務所 保育課			
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	222	福祉サービス	障害児及び保護者に対し、必要とされる福祉サービス(自立支援給付及び地域生活支援事業等)の情報提供と利用の決定を行い、障害児と保護者への支援により児童の健在育成を図る。 ・自立支援給付(居宅介護・行動援護・短期入所・児童発達支援、放課後等デイサービス等) ・地域生活支援事業(移動支援・日中一時支援・日常生活用具給付事業等)	18歳未満	上田	福祉課	居宅介護 144件 行動援護 114件 短期入所 36件 児童発達支援 839件 放課後等デイサービス 148件 移動支援 100人 日中一時支援 35人 日常生活用具給付事業 298件	2,965 10,149 2,434 138,012 7,488 39,863 3,754 2,879	・H25年4月及びH26年4月の制度改正に伴い、サービス体系等の一部変更があり、また、H25年4月より権限移譲に伴い育成医療が県より市に移管されるなど、市がより身近なかかわりとなってくる。
					丸子	丸子健康福祉課			
					真田	真田健康福祉課			
					武石	武石健康福祉課			
支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	223	特別支援教育支援員の配置	小・中学校に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒に対して、学校生活でのサポートを行う特別支援教育支援員を小中学校に配置、支援の充実を図る。	小中学校に在籍する児童生徒	上田	学校教育課	・小学校25校、中学校10校に配置。	43,430	・学校の状況に応じて、継続して配置する。
					丸子				
					真田				
					武石				